

# 四万十市地域福祉活動計画

人と人がつながる  
笑顔あふれる四万十市  
を目指して！！



四万十市社会福祉協議会

平成23年3月

## はじめに

この計画は四万十市社会福祉協議会が、地域住民や多様な機関・団体と連携・協働しながら地域福祉活動を進めるために策定を行った民間の活動計画です。

地域社会は、少子高齢化や核家族化、老々介護や児童・高齢者虐待など様々な問題があり、更に地域の助け合い機能の低下なども進んでおり、「誰もが安心して暮らせる地域」をつくるため、社会福祉協議会のみならず、市民一人ひとりに対し、より意識的な地域福祉活動の実践が求められています。また、様々な福祉ニーズや課題に対応し、それぞれの地域や、支援を必要とする方々の状況に沿った支援活動を進めるには、多様な個人・団体同士が協力し合い、連携・協働していくことが望まれます。しかし、それぞれが持っている意識や価値観、思いの違いなどから、市民の参画や個人・団体同士の連携・協働を進め、成果をあげていくには、それなりの時間や手順が必要であり、この計画の策定と推進は、そのための一つの方法として位置づけることができます。

こうしたことから、この計画の策定にあたっては、市民や福祉関連機関・団体の方などたくさんの方々のご協力をいただきながら、約1年10か月の期間をかけ、課題の把握や集約、解決策や計画案の検討などを進めてまいりました。この過程においてご協力をいただいた方々は、延べ1,200名以上にもなります。

平成23年度からの5ヵ年、四万十市社会福祉協議会は、この計画に基づき地域福祉活動を進めて参りますが、本市における地域福祉の一層の充実を目指し、幅広い市民・機関・団体の方々と手を携えながら取り組みを進めて参りたいと存じます。また、社会情勢や地域社会の状況が刻々と変化中、状況に合わせて計画の見直しを行いながら取り組みを進める必要があると考えております。

つきましては、市民の皆様、関係機関・団体の皆様には、ぜひ今後もより一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、計画の策定にあたり、多大なるご尽力を賜りました地域福祉活動計画策定委員長兼作業部会長の坂本登志行氏をはじめ、各委員の皆様、様々なご協力を賜りました関係者各位に対しまして、心から御礼申し上げます。

平成23年3月

社会福祉法人四万十市社会福祉協議会

会長 千代岡 博之

## 計画策定にあたって

この度四万十市社会福祉協議会から、福祉活動計画の策定の大役を命じられ、市内福祉団体、ボランティア団体の代表等 10 数名が策定委員ないしは作業部会員に委嘱され、昨年 6 月から作業に当たっています。

策定の視点としては、まず一つ目は、計画は課題を抱える人のみに対処する限定的なものではなく、住民すべてがより良く生きるという観点にたつものとする。

そして二つ目の視点として、机上の計画に終わることなく、すべての住民が日頃の生活の中で自然に実践しやすいように具体的な内容とする。四万十市は海岸部から山間部と非常に範囲が広く、地域に暮らす住民は、生活や習慣において大きな差が見受けられ、それぞれの地域の状況に即した視点が必要となってきます。

三つ目の視点として策定に当たっては、その地域の特性に応じて、柔軟に対応ができるような内容であり、必要に応じて再検討も視野に入れるべきであると考えました。

四つ目として、市が作成した地域福祉総合計画との連携をいかに図っていくかにも配慮しなければならないと思います。

作業部会は、県社協の地域いきがい課の三橋沢実主任をはじめ数人のアドバイザーの協力をいただき、3 グループに別れてのグループワーク形式の討論をし、社協事務局がまとめたものを素案として、それを検討しながら作成するという形をとりました。

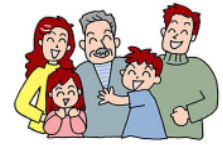
委員にとって、初めての経験で、作成された計画は完全なものではありません。ここ数年は実践見直し、見直し実践の繰り返しになることと思います。取り組みやすいものから実践に移し、机上の計画に終わらないように、地域の人たちをはじめ、ボランティアなどの住民が「幸せづくりの担い手」として、行政と力を合わせ、誰もが住み慣れた地域で生き生きとした生活を送れる手助けになってゆければ嬉しく思います。

四万十市地域福祉活動計画策定委員会  
委員長及び作業部会長 坂本 登志行

# もくじ

1	地域福祉活動計画等について	
①	地域福祉とは	1
②	地域福祉活動計画とは	1
③	地域の課題解決に向けて	1
④	自助・共助・公助と地域福祉活動計画の関係（イメージ）	2
⑤	社会福祉協議会と地域福祉活動計画	2
2	四万十市の現状と課題	
①	四万十市の概要等	3
②	人口の状況	4
③	人口構成	5
④	世帯の状況	6
⑤	地域での聞き取り調査等の状況	7
3	四万十市地域福祉活動計画	
①	地域福祉活動計画策定の経過	8
②	計画の期間等	11
③	四万十市地域福祉活動計画体系図	11
④	活動計画（実施目標）の内容 概略	12
⑤	基本構想	13
⑥	重点目標	13
⑦	活動目標（実施目標）	14
⑧	実施目標一覧表	21
4	各種資料	
①	地域での聞き取り調査の内容等	23
②	四万十市地域福祉計画 計画の体系図	40
③	社会福祉法 抜粋（参考）	42
④	四万十市地域福祉活動計画策定関係者等名簿	43

# 1 地域福祉活動計画等について



## ①地域福祉とは

地域福祉とは、それぞれの地域において人々が安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して、地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

地域福祉は、ホームヘルプサービスや福祉サービス利用援助事業など法に基づく制度化された福祉サービスや事業者のみによって実現するものではなく、地域住民やボランティア、行政・関係諸機関、社会福祉関係者が協働して実践することによって支えられます。

近年、社会・経済状況の大きな変化に伴って、これまでは福祉の対象となりづらかったホームレスといった社会的援護を要する人達への支援、また、ひきこもりや虐待といった新たな社会課題への対応が早急に求められるようになってきました。こうした課題を、地域住民・社会福祉事業者やボランティアの人達、行政機関などがそれぞれの役割や特性を活かしながら地域のみんなで支え合い、解決していこうというのが地域福祉の考え方です。

## ②地域福祉活動計画とは

市民の福祉サービスの適切な利用、地域における福祉サービス事業の適切な発展、地域福祉に関する活動への市民の主体的な参画が進むよう、これから四万十市がすすめる様々な地域福祉に関する施策・事業や、市民・事業者の取り組みについて基本的なあり方を示したものが四万十市地域福祉計画（平成22年3月策定済）です。

地域福祉活動計画とは、社会福祉協議会が中心となり地域住民やボランティア団体などの関係団体に呼び掛けて、相互に協力して策定する福祉課題の解決に取り組むための民間の活動・行動計画です。地域福祉を推進する目的として組織された社会福祉協議会にとっては、地域福祉を推進するための活動方針やその役割などを示した重要な計画となります。

## ③地域の課題解決に向けて

地域の課題は、地域ごとに様々で地域の実情に応じた多様な対応が必要であり、日常生活に密着したもので、きめ細かく個別に対応する必要があります。全市的に統一した公的な福祉サービス（公助）で対応するだけでなく、各地域において、住民が行政との協働・役割分担のもとで、主体的に課題の解決に取り組み、「地域の助け合いによる福祉（共助）」で対応することが効果的になると考えられます。

### 自 助

個人や家族による自助努力（自分でできることは自分でする）

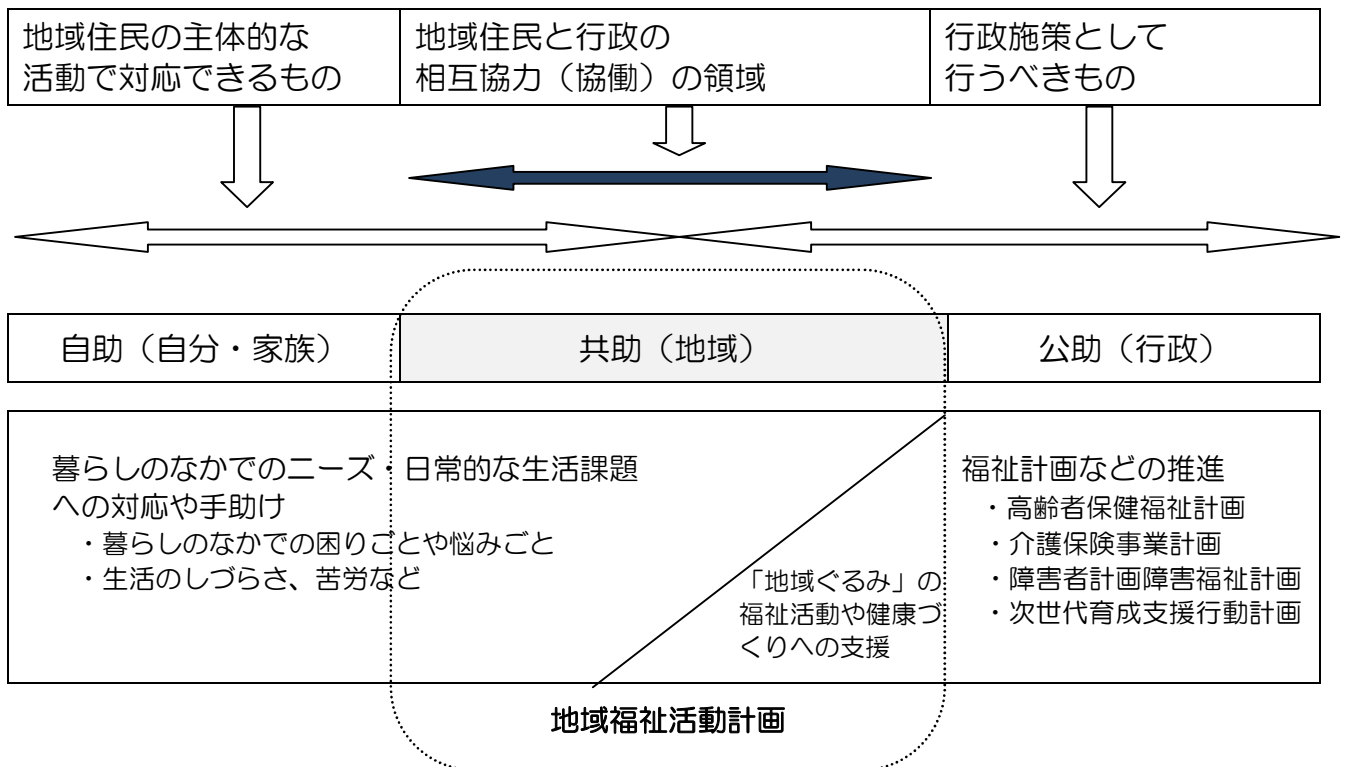
### 共 助

地域社会における相互扶助（隣近所や友人、知人とお互いに助け合う）民間非営利活動・事業、ボランティア・市民活動、社会福祉法人などによる支え（「地域ぐるみ」福祉活動に参加して地域で助け合う）

### 公 助

公的な制度としての保健・医療・福祉その他の関連する施策に基づくサービス供給（行政でなければできないことは、行政がしっかりとる）

#### ④自助・共助・公助と地域福祉活動計画の関係（イメージ）



#### ⑤社会福祉協議会と地域福祉活動計画

社会福祉協議会（以下「社協」とします）は、民間の社会福祉活動を強化するために、昭和26年から全国で設立が進められました。以後、社協は、地域の福祉課題の解決を使命とする民間団体として、住民ニーズ・福祉課題の明確化、住民の福祉活動の推進、関係機関・団体等の組織化や連絡調整の活動などを行ってきました。また、各地域に必要な福祉サービスの提供や、相談支援、福祉サービスの利用援助等を行いながら今日に至っています。

そのような中、「地域の課題解決はみんなの力を合わせて進めていくことが求められ、そのためには課題把握、解決方法の企画立案、社会資源の組織化などの活動を計画的・体系的に行っていく必要がある」という考え方から、次第に全国の各社協で地域福祉活動計画の策定が行われるようになってきました。

四万十市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）においては、平成17年4月に合併（旧中村市・旧西土佐村）して、住民や関係機関・団体との連携のもと地域福祉事業や在宅福祉事業などに取り組んでまいりましたが、四万十市地域福祉計画の策定（平成22年3月）を期に、合併後最初となる第一次地域福祉活動計画を策定いたしました。



## 2 四万十市の現状と課題

### ①四万十市の概要等

四万十市は、平成17年4月10日に旧中村市と旧西土佐村が合併し発足し、それに伴い社会福祉協議会も合併しました。高知県の西南部「幡多地域」（3市2町1村）のほぼ中央にあり、総面積632.42km<sup>2</sup>のまちです。

日本最後の清流として知られる四万十川は、西土佐地域（旧西土佐村）から中村地域（旧中村市）を太平洋に向かって南流しており、市街地や新興住宅地、海岸沿いの集落から中山間地域に集落が点在している地域です。

四万十市では、急激な超高齢社会の進展に伴い、中山間地域はもとより市街地で空洞化現象がおこり、独居世帯・高齢者のみの世帯の増加や核家族化などにより、家庭における介護力の低下やライフスタイルの変化など、身近な交流やコミュニケーションの希薄化が進み、地域での支え合いの機能が弱まってきて、自治組織（区）の存続自体が危ぶまれる地域が出てきております。また、少子化により人口減少に歯止めがかからず、福祉に関するニーズのますます複雑・多様化しています。

一方、社会福祉・社会保障制度改革、その他の行財政改革が進むとともに、自分たちの課題を自分たちで解決していく仕組みづくりとして、地方分権の動きも進んでいます。

こうした状況の中、私たちが地域の中で、行政と住民、住民と住民の間で、どのように役割・責任の分担や協力を進め、「地域の福祉力」を高めていくのか、ということが課題になっています。

地域の状況 平成22年4月1日

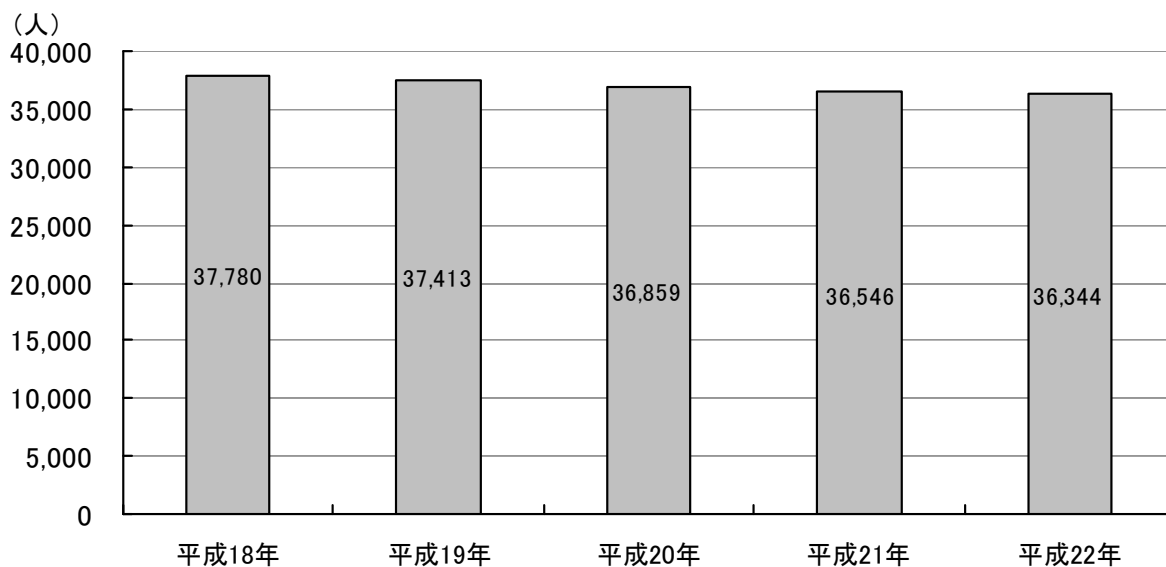
人 口	36,356 人	高齢者数	10,471 人	高齢化率	28.8%	独居高齢者数	2,944 人
世帯数	16,157 世帯	介護保険 認定者数	1,887人	介護認定 出現率	18%	年間出生 数	240 人
保育所	20ヶ所	幼稚園	1ヶ所	小学校	21校	中学校	11校



## ②人口の状況

総人口の推移状況をみると、平成18年の37,780人から平成22年には36,344人まで減少しており、年々減少傾向にあります。

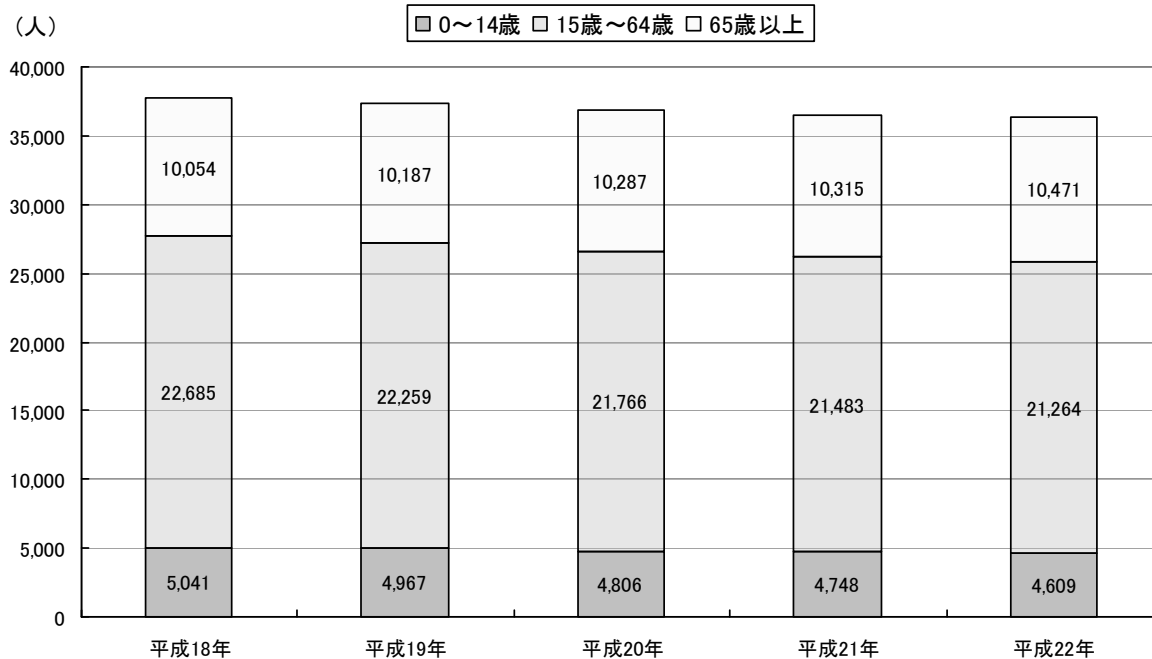
### ■総人口の推移状況



資料:住民基本台帳  
市福祉計画資料援用

また、年齢3区分人口の推移状況をみると、0～14歳及び15～64歳は減少傾向である一方、65歳以上人口については、年々増加傾向にあります。

### ■年齢3区分人口の推移状況



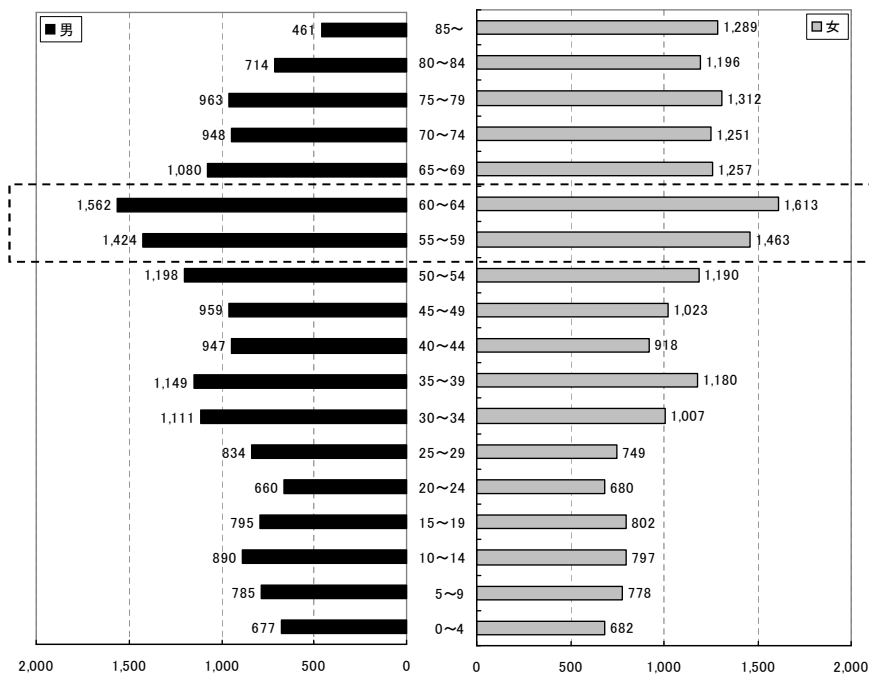
資料:住民基本台帳  
市福祉計画資料援用



### ③人口構成

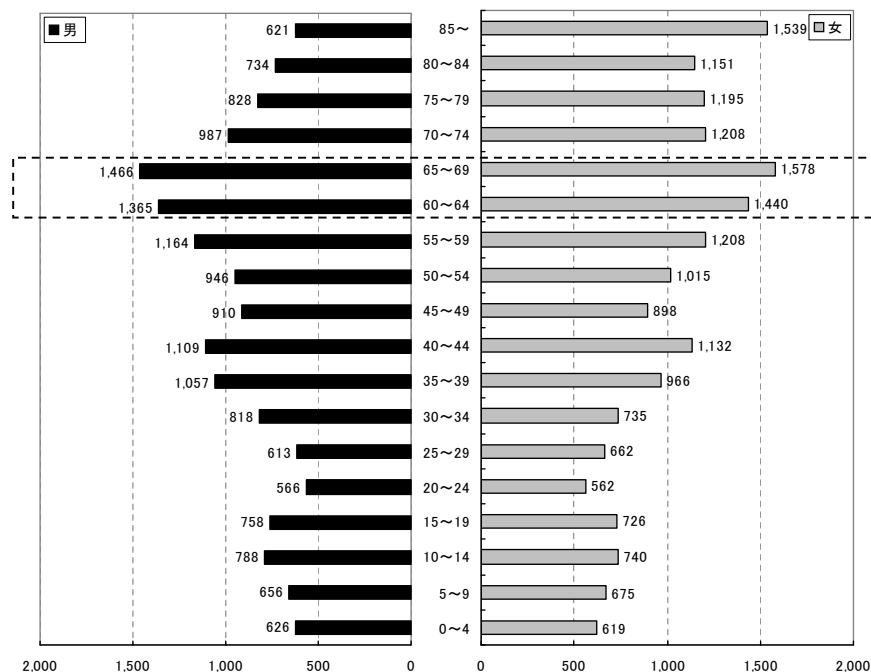
人口の構成状況をみると、55～64歳の層が多くなっています。また、将来推計の人口構成の状況をみると、今後、少子化及び高齢化がより進行していくものと予測されます。

■人口構成の状況(平成22年4月)



5年後

■人口構成の状況(平成27年度)



※住民基本台帳のデータを使用し、コーホート変化率法に基づいて算出

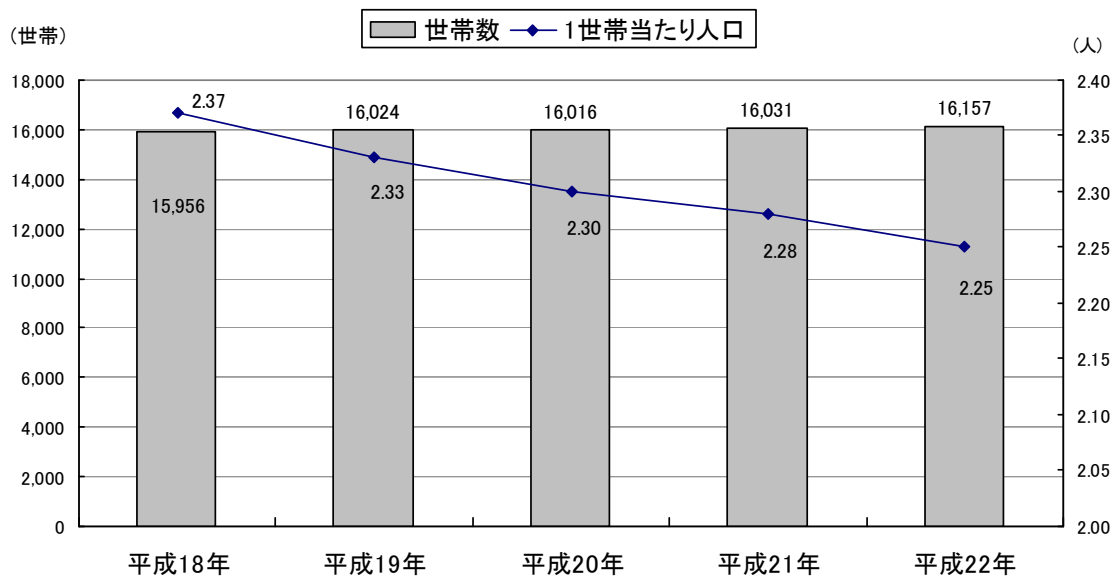
資料:住民基本台帳  
市福祉計画資料援用

#### ④世帯状況

世帯数の推移状況を見ると、平成18年の15,956世帯から平成22年には16,157世帯へ増加しています。また、1世帯当たり人口の推移状況を見ると、平成18年の2.37人から平成22年には2.25人へ減少しており、高齢者の世帯やひとり暮らしなど、核家族化が進行していることがうかがわれます。

また、地区別世帯数の状況を見ると、中村地区が最も世帯数及び割合が最も多くなっています。

#### ■世帯数及び1世帯当たり人口の推移状況



資料：住民基本台帳  
市福祉計画資料援用

#### ■地区別世帯数の状況（平成22年4月1日）

単位：世帯

	中村地区	東山地区	具同地区	東中筋地区	中筋地区	八束地区	下田地区	蕨岡地区	後川地区	大川筋地区	富山地区	津大地区	江川崎地区	合計
世帯数	4,669	1,946	3,023	507	588	675	1,340	480	756	345	435	721	672	16,157
割合	28.9%	12.0%	18.7%	3.1%	3.6%	4.2%	8.3%	3.0%	4.7%	2.1%	2.7%	4.5%	4.2%	100.0%

## ⑤地域での聞き取り調査等の状況

四万十市地域福祉活動計画策定時に、市内を※5地区（市街地・東部・西部・北部・西土佐地域）に分けた、ワークショップ（H21/6/2～8/12.）に参加して住民の意見等の意見を聞きました。

その経過を踏まえ、後発でとりかかった地域福祉活動計画策定にあたっては、方式を変えて※福祉活動推進校（小学生・中学生）への聞き取りやアンケート調査、子育て中のお母さん・高齢者ふれあい談話室やサロン等参加者・ボランティアの方など、様々な方のご協力をいただきながら、延べ893名の方から聞き取り調査を行いました。

その結果を踏まえ、地域福祉計画のワークショップのまとめと併せて、聞き取りした調査結果をベースにしながら、策定委員会・作業部会で計画の検討を行いました。

### \*聞き取り調査等の集計状況

聞き取り調査の結果、対象別では男女構成比で 76.8%が女性方で、高齢者・ボランティアの方が 73.9%となっております。また、地区別でみると、西土佐地域が 31.7%で続いて中村東部地域が 29.3%となっております。

### \*対象別集計

対象別		男(人)	女(人)	計(人)	男(%)	女(%)	計(%)
	高齢・ボランティア	103	557	660	49.8	81.2	73.9
子育て中の母等	4	39	43	1.9	5.7	4.8	
中学生	61	55	116	29.5	8.0	13.0	
小学生	39	35	74	18.8	5.1	8.3	
合 計	207	686	893	23.2	76.8	100.0	

### \*地区別集計

地区別		男(人)	女(人)	計(人)	男(%)	女(%)	計(%)
	中村北部	30	82	112	14.5	12.0	12.5
中村東部	91	171	262	44.0	24.9	29.3	
中村西部	14	60	74	6.8	8.7	8.3	
市街地	6	136	142	2.9	19.8	15.9	
西土佐	58	225	283	28.0	32.8	31.7	
その他	8	12	20	3.9	1.7	2.2	
合 計	207	686	893	23.2	76.8	100.0	

※5地区 市街地（旧町内）・東部（東山・下田・八東）・西部（具同・東中筋・中筋）  
北部（蕨岡・後川・大川筋・富山）・西土佐地域  
（詳細については、本冊子の23頁～をご覧ください）

※福祉活動推進校 小学校・中学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発をはかることを目的とする学校（平成22年度 後川・大川筋・下田・八東中学校 東中筋・下田・西ヶ方小学校の計7校）

### 3 四万十市地域福祉活動計画

#### ①地域福祉活動計画策定の経過

地域福祉計画策定に向けては、まず先行して策定されていた四万十市地域福祉計画の中で、平成21年度に5地域で各3回のワークショップが開催され事務局職員が参加、また、地域福祉計画策定にあたり、策定委員として参画しました。

一方、地域福祉活動計画の策定に向けて、平成21年6月に第1回目の策定委員会を開催しましたが、市の福祉計画と一定連携が必要なことから、福祉計画が平成22年3月に策定されたことをうけ、実質平成22年度より精力的に活動計画策定に向け、研修会や策定委員会、作業部会などの協議を重ねて四万十市地域福祉活動計画が策定されました。

#### 平成21年度の経過

開催日及び参加者	会議名・場所	内容など
平成21年6月15日(月) 13:30~15:30 委員10名・事務局3名	第1回策定委員会 四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・策定委員会要綱等の確認</li> <li>・委員長、副委員長の互選 (坂本登志行委員長・中之所克己副委員長)</li> <li>・今後のスケジュールの確認</li> </ul>
平成21年 6/2・6/3・6/8・6/9・ 6/10 事務局各1名参加	地域福祉計画第1回ワーク ショップ 市街地・中村北部・中村西 部・中村東部・西土佐地域 の集会所など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉や地域福祉計画の基本的なことについて</li> <li>・地域の課題について</li> </ul>
平成21年 6/30・7/3・7/6・7/8・ 7/9 事務局各1名参加	地域福祉計画第2回ワーク ショップ 中村北部・市街地・中村西 部・中村東部・西土佐地域 の集会所など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(前回で出た課題を踏まえながら)高齢者・児童・障害者等のために必要なことを考え、課題の優先順位をつける</li> </ul>
平成21年 7/24・7/29・7/31・ 8/3・8/12 事務局各1名参加	地域福祉計画第3回ワーク ショップ 中村北部・西土佐・中村東 部・中村西部・市街地・地 域の集会所など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(前回でまとめた必要なことについて)自助・公助・共助について考える</li> </ul>

平成 22 年度の経過

開催日及び参加者	会議名・場所	内容など
平成 22 年 6 月 28 日(月) 13:30~15:10 策定委員 10 名 アドバイザー 7 名 理事 7 名 事務局 7 名 計 31 名	地域福祉活動計画策定に向けた研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域福祉活動計画策定に向けて」</li> <li>高知県社会福祉協議会 地域いきがい課 主任 三橋 択実さん</li> <li>・意見交換</li> <li>・その他</li> </ul>
平成 22 年 7 月 14 日(水) 13:30~15:25 策定委員 9 名 アドバイザー 3 名 理事 2 名 事務局 7 名 計 21 名	第 2 回策定委員会 四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「四万十市地域福祉計画の概要について」</li> <li>四万十市福祉事務所長 大崎 健一さん</li> <li>・今後のスケジュールの確認</li> <li>・その他</li> </ul>
平成 22 年 8 月 6 日(金) 18:30~20:40 委員 13 名 アドバイザー 4 名 事務局 5 名 計 22 名	第 1 回作業部会 四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介(アドバイザー・事務局)</li> <li>・活動計画策定の趣旨説明</li> <li>・地域福祉活動計画</li> <li>「地域福祉活動計画くと地域福祉計画との関係」</li> <li>高知県社会福祉協議会 地域いきがい課 主任 三橋 択実さん</li> <li>・部会委員(団体)の活動状況の報告など</li> </ul>
平成 22 年 8 月 30 日(月) 18:30~20:36 委員 12 名 アドバイザー 5 名 事務局 7 名 計 24 名	第 2 回作業部会 四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回作業部会の内容等の確認</li> <li>・「自分たちが住みたい四万十市像」についての意見交換「グループワーク」</li> <li>・作業部会のメンバー構成確認</li> <li>・聞き取り調査の進捗状況の報告など</li> </ul>
平成 22 年 10 月 20 日(水) 18:35~20:42 委員 11 名 アドバイザー 5 名 事務局 5 名 計 21 名	第 3 回作業部会 四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 回作業部会の内容等の確認</li> <li>・地域福祉活動計画体系図の理解・共通認識</li> <li>高知県社会福祉協議会 地域いきがい課 主任 三橋 択実さん</li> <li>・地域の聞き取り調査の結果について</li> <li>・意見交換など</li> </ul>
平成 22 年 11 月 11 日(木) 18:30~20:30 委員 12 名 アドバイザー 5 名 事務局 6 名 計 23 名	第 4 回作業部会 四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 3 回作業部会の内容等の確認</li> <li>・地域福祉活動計画 活動の柱の検討</li> <li>・活動目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 支えあえる地域</li> <li>* 安心・安全の地域</li> </ul> </li> <li>2 点の実施目標についてグループで検討</li> </ul>

平成 22 年度の経過

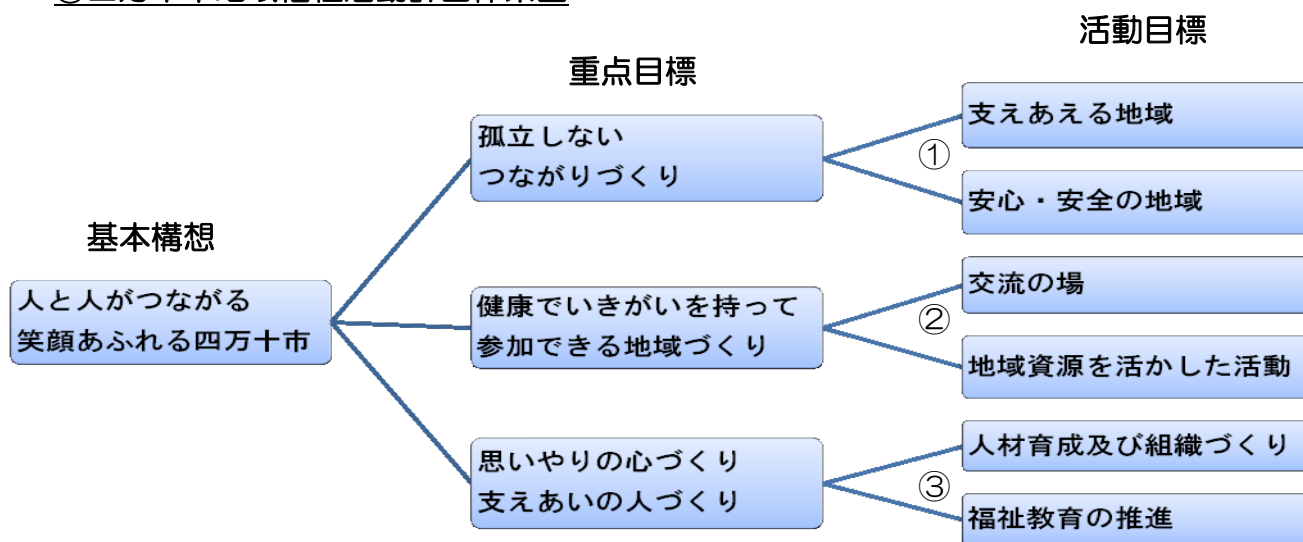
開催日及び参加者	会議名・場所	内容など															
平成 22 年 11 月 26 日 (金) 18:30~20:30  委員 13 名 アドバイザー 4 名 事務局 6 名 計 23 名	第 5 回作業部会  四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 4 回作業部会の内容等の確認</li> <li>・ 活動目標               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 交流の場</li> <li>* 地域資源を活かした活動</li> </ul> </li> <li>2 点の実施目標についてグループで検討</li> <li>・ 今後の日程等の確認</li> </ul>															
平成 22 年 12 月 15 日 (水) 18:30~20:30  委員 13 名 アドバイザー 4 名 事務局 6 名 計 23 名	第 6 回作業部会  四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 5 回作業部会の内容等の確認</li> <li>・ 活動目標               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 人材育成及び組織づくり</li> <li>* 福祉教育の推進</li> </ul> </li> <li>2 点の実施目標についてグループで検討</li> <li>・ 今後の日程等の確認</li> </ul>															
平成 23 年 1 月 12 日 (水) 18:30~20:30  委員 12 名 アドバイザー 5 名 事務局 5 名 計 22 名	第 7 回作業部会  四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 6 回作業部会の内容等の確認</li> <li>・ 基本構想の検討</li> <li>・ 実施目標の担い手等の検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>* Aグループ（孤立しないつながりづくり）</li> <li>* Bグループ（健康で生きがいを持って参加できる地域づくり）</li> <li>* Cグループ（思いやりのある心づくり・支えあいの人づくり）</li> </ul> </li> <li>* 今後の日程等の確認</li> </ul>															
平成 23 年 2 月 7 日 (月) 18:30~20:15  委員 13 名 アドバイザー 5 名 事務局 6 名 計 24 名	第 8 回作業部会  四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 7 回作業部会の内容等の確認</li> <li>・ 地域福祉活動計画素案の検討</li> <li>・ 活動計画策定後の進め方</li> </ul>															
平成 23 年 2 月 21 日(月) 13:30~14:45 策定委員 9 名 アドバイ ザー 3 名 事務局 6 名 計 18 名	第 3 回策定委員会  四万十市社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業部会等の経過の報告</li> <li>・ 四万十市地域福祉活動計画素案について</li> <li>・ 活動計画策定後の進め方等について</li> <li>・ その他</li> </ul>															
<p>*平成 21 年 6 月~平成 23 年 2 月までの経過</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;">・ 地域福祉計画策定委員会・ワークショップ等</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">21 回</td> <td style="width: 40%;">延べ 30 名</td> </tr> <tr> <td>・ 地域福祉活動計画策定委員会</td> <td style="text-align: center;">3 回</td> <td>延べ 83 名</td> </tr> <tr> <td>・ 地域福祉活動計画研修会</td> <td style="text-align: center;">1 回</td> <td>延べ 31 名</td> </tr> <tr> <td>・ 地域福祉活動計画策定委員会作業部会</td> <td style="text-align: center;">8 回</td> <td>延べ 182 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">33 回</td> <td>延べ 326 名</td> </tr> </tbody> </table>			・ 地域福祉計画策定委員会・ワークショップ等	21 回	延べ 30 名	・ 地域福祉活動計画策定委員会	3 回	延べ 83 名	・ 地域福祉活動計画研修会	1 回	延べ 31 名	・ 地域福祉活動計画策定委員会作業部会	8 回	延べ 182 名	合 計	33 回	延べ 326 名
・ 地域福祉計画策定委員会・ワークショップ等	21 回	延べ 30 名															
・ 地域福祉活動計画策定委員会	3 回	延べ 83 名															
・ 地域福祉活動計画研修会	1 回	延べ 31 名															
・ 地域福祉活動計画策定委員会作業部会	8 回	延べ 182 名															
合 計	33 回	延べ 326 名															

## ②計画の期間等

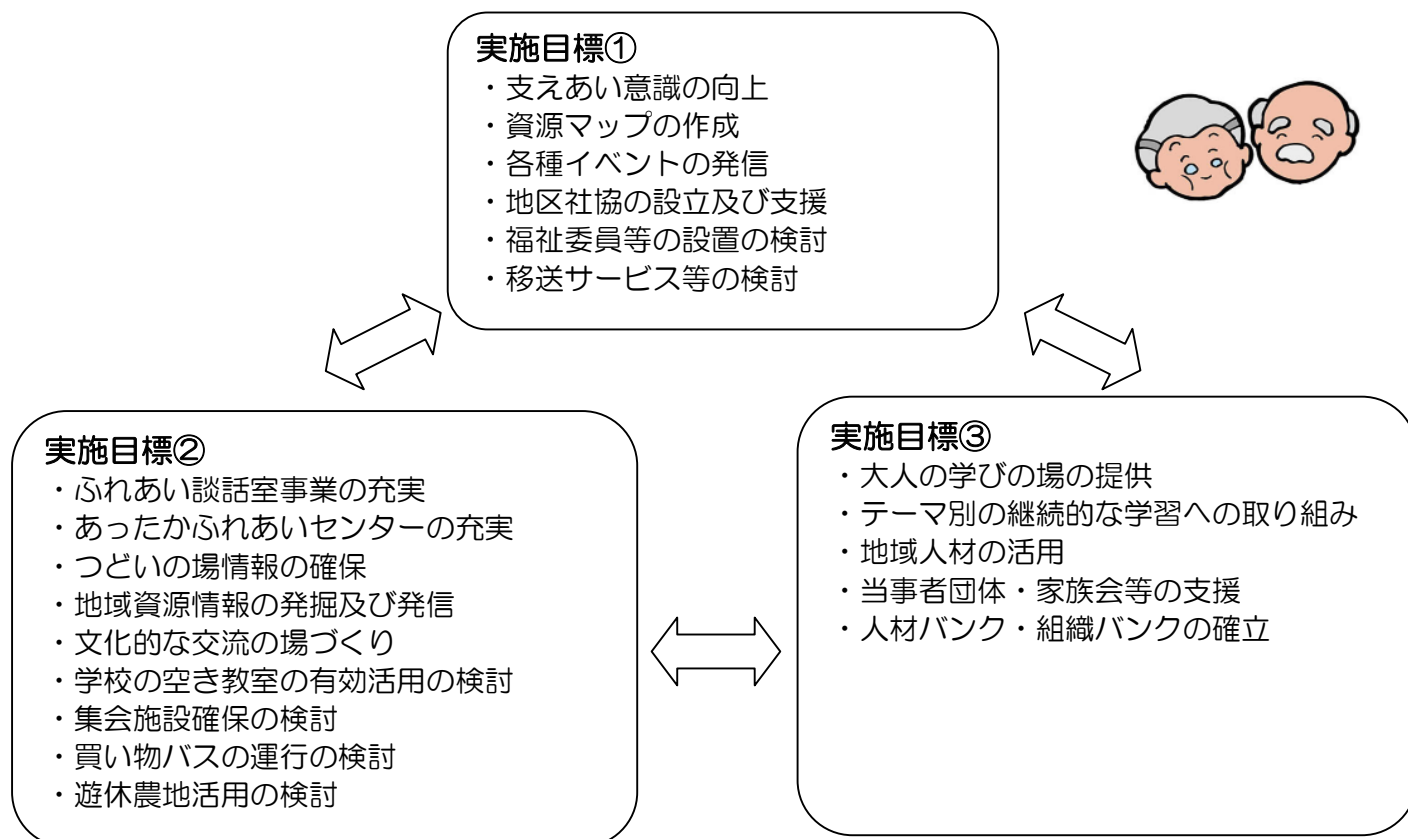
この計画は、平成23年度から平成27年度までの5カ年です。

また、地域の状況やニーズ・社会情勢等の変化に対応するため、四万十市地域福祉活動計画評価検討委員会を設置し、計画の進捗状況等を確認しながら、必要に応じて計画の見直しを行います。

## ③四万十市地域福祉活動計画体系図



### ※活動目標に対する実施目標



#### ④活動計画（実施目標）の内容 概略

##### 実施目標①

項目	主な担い手	対象地区	計画年度	内容等	福祉計画
①支えあい意識の向上	地域住民	市内全域	H23 年度～	支えあい意識の向上が図れるような啓発等(パンフレット作成等)を行い支えあい意識の向上を目指す	(1)④他 ※
②資源マップの作成	地域住民	モデル地区	H23 年度調査 H24 年度実施	市内5カ所程度にモデル地区を設定して、資源マップを作成し地域内の独居高齢者等に配布する	(2)1②他
③各種イベントの発信	地域住民	市内全域	H23 年度調査 H24 年度実施	現在行われている地域ごとのイベントの調査を行い、一覧表を作成し発信していく	(3)⑤他
④地区社協の設立及び支援	市社協	未設置地区	H23 年度～	年間3カ所を目標に地区社協を増やしていく。また、既存に地区社協の支援を行う	(5)①他
⑤福祉委員等の設置の検討	地域住民	市内全域	H23 年度検討	地域で見守りが必要な人に異変等があった場合、民生委員や市社協に連絡をとってくれる人仮称福祉委員の設置の検討を行う	(2)1②他
⑥移送サービス等の検討	市社協	市内全域	H23 年度調査 H24 年度検討～	移動が困難な地域(個人)の調査を行い、改善策などを検討する	(2)1④他

##### 実施目標②

項目	主な担い手	対象地区	計画年度	内容等	福祉計画
①ふれあい談話室事業の充実	市社協	既設地区	平成 23 年度～	世話人等の相談役になりながら、談話室事業の活性化を図る。また、潜在的な利用者宅へ訪問し状況等の把握を行い、必要なサービスにつなげていく	(2)1⑤他 ※
②あったかふれあいセンターの充実	あったかふれあいセンター	既設地区	平成 23 年度～	あったかふれあいセンター事業の運営を社協の立場で側面的に支援していく。	(5)①他
③つどいの場情報の確保	地域住民	市内全域	H23 年度調査 H24 年度実施	地域別に人が集まっている場所やつどいの場になりそうな場所等の状況を調査し、その地域別情報提供を行う	(3)⑤他
④地域資源情報の発掘及び発信	ボラ協 市社協	市内全域	H23 年度調査 H24 年度実施	地域の資源等を発掘して、社協ホームページ等を活用し情報発信を行う	(3)⑤他
⑤文化的な交流の場づくり	地域住民	モデル地区	H24 年度調査 H25 年度実施	市内3カ所程度をモデル地区として、個人の趣味を充実させるための講座等開催し、作品展やサークル活動等へつなげていく	(5)④他
⑥学校の空き教室の有効活用の検討	地域住民 学校	既存地区	H24 年度検討	現在使用中の、学校の空き教室の有効活用を、地域住民と協議して活用についての検討を行う	—
⑦集会施設確保の検討	地域住民	集会所未設置地区	H24 年度調査 H25 年度検討	集会施設のない地区で、既存で活用出来そうな建物を調査し、地域の中で検討を行っていく	—
⑧買い物バスの運行の検討	市社協	買い物に不自由な地域	H24 年度調査 H25 年度検討	地域の実情を把握して、必要に応じて買い物バスを走らせる検討を行う	(2)1④他
⑨遊休農地活用の検討	障害者団体等	モデル地区	H24 年度調査 H25 年度検討	市内にモデル地区1ヶ所を設置するための遊休農地や障害者団体等の意向調査を行い、検討を重ねながら実現に向けて取り組む	(2)3④他

##### 実施目標③

項目	主な担い手	対象地区	計画年度	内容等	福祉計画
①大人の学びの場の提供	市社協 ボラ協	市内全域	H23 年度～	旧町村単位で、各地区年間 1～2 箇所研修会を行う。また、他団体等が行う研修会等の情報収集を行い情報発信や人集めをする	(1)④他 ※
②テーマ別の継続的な学習への取り組み	学校 市社協	福祉推進校	H23 年度検討 H24 年度実施	小中学生の学年別にプログラムを作成して、各団体の協力を得ながら、継続した勉強が出来る体制の整備を行う	(2)4③
③地域人材の活用	市社協	—	H23 年度調査 H24 年度実施	シルバー教室受講者や養成講座修了者等の調査を行い、人材バンクや社協だよりやホームページを活用し周知して、地域の人材活用を行う	(5)②
④当事者団体・家族会等の支援	市社協	—	H23 年度調査 H24 年度実施	各当事者団体や家族会等の活動の支援を側面的に行い、団体等の活性化を図る	—
⑤人材バンク・組織バンクの確立	市社協	—	H23 年度調査 H24 年度実施	各団体や個人の状況の調査を行い、地域人材の育成で上がってきた人等に登録してもらい、周知を図り活用していく	(5)②

※福祉計画内の数字等は、四万十市地域福祉計画書 40 頁～41 頁の「具体的な施策」と関連する項目の数字を入れております。  
本冊子の 40 頁～41 頁参照(四万十市地域福祉計画 計画の施策の展開 40 頁～41 頁抜粋)



## ⑤基本構想

### 人と人がつながる笑顔あふれる四万十市

近年、新たな社会リスクとして「無縁社会」「孤立化」「孤族」といった問題が生まれてきている世の中で、その状況は四万十市においても例外ではなく、解決策等について作業部会等で検討を重ねました。現状では、昔ながらのつながりを復活するのは大変難しく、今後どのような仕組みを考えていくのかが重要となってきます。

そこで、地域での聞き取り調査結果をベースに活動目標の検討から始まり、重点目標の検討、実施目標の検討を行い協議を重ねた結果、「人と人とのつながり（ネットワーク形成）の必要性」や「笑顔は健康の源」というキーワードが出され、「人と人がつながる笑顔あふれる四万十市」を基本構想として、共生・自立で支えあえる心豊かな地域社会を目指します。



## ⑥重点目標

### 1.孤立しないつながりづくり

地域の中で安心して暮らせるよう、支えあえる地域・安心安全の地域に向けて、資源マップの作成等にとりくみ、孤立しないような体制づくりを目指します。

### 2.健康でいきがいを持って参加できる地域づくり

いきがいを持つことが出来るような、交流の場・地域資源を活かした活動に向けて、つどいの場の検討や情報の発信等を行い、参加できるしくみづくりを目指します。

### 3.思いやりの心づくり・支えあいの人づくり

思いやりの心や支えあいのひとづくりに向けて、大人の学びの場の提供や福祉教育の推進等をはかり、福祉の土壌づくりを目指します。

## ⑦活動目標（実施目標）

### 1.支えあえる地域・安心安全の地域



#### 1.支えあい意識の向上

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
地域住民	市内全域	実施				→

#### \*具体的な内容

- ・住民同士がお互いに住みやすい地域にするため、お互いに支えあえる意識の向上を図ることができるような啓発用のパンフレットなどを作成し、定期的に配布することにより、意識の向上を図り支えあえる地域を目指します。

#### 2.資源マップの作成

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
地域住民	モデル地区	調査	実施			→

#### \*具体的な内容

- ・市内5カ所（平成 23 年度の調査段階で決定）にモデル地区を設置して、その地域住民に呼びかけ協働でマップを作り、地域資源（区長・民生委員宅・自主防災会の会員宅・つどいの場情報など）を記載し、独居高齢者宅など必要と思われる世帯へ配布することにより支えあえる地域を目指します。

#### 3.各種イベントの発信

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
地域住民	市内全域	調査	実施			→

#### \*具体的な内容

- ・現在、各地域で行われている地域のイベント情報等の調査を行い、一覧表を作成してその地域に発信して、活用してもらい交流しながら支えあえる地域づくりを目指します。

#### 4.地区社協の設立及び支援

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市社協	未設置地区	実施	→			→

##### \*具体的な内容

- ・現在、四万十市内には、11地区の地区社協が設立されているが、未設置地区に働きかけを行い、年間3地区を目標に地区社協の設置を目指す。また、既存の地区社協についても運営等に積極的な働きかけを行い支えあえる地域づくりを目指します。

#### 5.福祉委員等の設置の検討

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
地域住民	市内全域	検討	→			

##### \*具体的な内容

- ・地域において見守り等が必要な方を、ごく自然な形で見守り等を行い異変があれば、民生委員や社会福祉協議会に連絡をとってくれる人、仮称福祉委員の設置についての検討を行い、支えあえる地域づくりを目指します。

#### 6.移送サービス等の検討

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市社協	市内全域	—	調査	検討	→	

##### \*具体的な内容

- ・中山間地域等で移動が困難な人（地域）の調査を、市社協が地域住民や関係機関の協力を得ながら行い、その結果を基にして地域住民や関係機関と協議重ね、改善策等を検討行い支えあえる地域づくりを目指します。



## 2.交流の場・地域資源を活かした活動



### 1.ふれあい談話室事業の充実

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市社協	既設地区	実施				→

#### \*具体的な内容

- ・現在、四万十市で行われているふれあい談話室事業の世話人等の相談役になりながら、情報提供やレクリエーション指導等を行い活動の活性化を図り、交流の場の充実を目指します。また、事業に参加できない方のお宅へうかがい、情報等を把握し必要に応じて適切なサービスの検討や関係機関等への連絡調整を行い事業の充実を目指します。

### 2.あったかふれあいセンターの充実

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
あったかふれあいセンター	既設地区	実施				→

#### \*具体的な内容

- ・四万十市に設置されているあったかふれあいセンターの支援として、市社協の立場で必要に応じて側面的に支援しながらスムーズに運営等ができるようバックアップを行い交流の場の充実を目指します。

### 3.つどいの場情報の確保

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
地域住民	市内全域	調査	実施			→

#### \*具体的な内容

- ・地域別に、人が集まっている場所や交流している場所（喫茶店・良心市）、また、つどいの場になりそうな場所などの調査を行い交流の場の充実を目指します。

#### 4.地域資源情報の発掘及び発信

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
ボラ協 市社協	市内全域	調査	実施	→		

＊具体的な内容

- ・地域の資源の調査を行い、地域で活用できそうな資源の情報の提供や市社協のホームページ等に掲載し、地域資源（フォーマル・インフォーマル）が有効に活用できるような活動を目指します。

#### 5.文化的な交流の場づくり

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
地域住民	モデル地区	—	調査	実施	→	

＊具体的な内容

- ・市内3カ所（平成 24 年度の調査段階で決定）にモデル地区を設置して、住民個人の趣味等を引き出せるような講座や研修会等を行い、その地区内での作品展やサークル活動につなげていけるような交流の場づくりを目指します。

#### 6.学校の空き教室の有効活用の検討

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
地域住民 学校	既設地区	—	検討	→		

＊具体的な内容

- ・現在使用中の学校の空き教室の状況を確認して、学校・地域住民と協議のうえ、児童生徒と地域住民が交流できる場や地域の集会施設等として、検討を行い地域資源の有効活用を目指します。



## 7.集会施設確保の検討

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
地域住民	集会所未設置 地区	—	調査	検討	→	

### \*具体的な内容

- ・集会施設のない地域の調査を行い、地域住民と協働しながら既存で使用出来そうな建物の検討を行い、関係機関等と協議検討のうえ集会施設の確保と併せて地域資源の有効活用を目指します。

## 8.買い物バスの運行の検討

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市社協	買い物に不自 由な地域	—	調査	検討	→	

### \*具体的な内容

- ・買い物に関して地域の実態調査を行い、実情を把握したうえで必要に応じて買い物バスが運行できるように、地域住民や関係機関と協議して、買い物バス運行に向けた検討を行い、利便性向上を目指します。

## 9.遊休農地活用の検討

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
障害者団体 等	モデル地区	—	調査	検討	→	

### \*具体的な内容

- ・市内にモデル地区1ヶ所（平成 24 年度の調査段階で決定）を設置するための遊休農地調査や障害者団体等の意向の調査を行い、障害者団体等や関係機関と協議を重ね、農作物の生産を通じていきがいが見いだせるような活動を目指します。



### 3.人材育成及び組織作り・福祉教育の推進



#### 1.大人の学びの場の提供

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
ボラ協 市社協	市内全域	実施	—	—	—	—

##### \*具体的な内容

- ・旧町村単位（中村地域 11 地区・西土佐地域 2 地区）で、各地区年間 1～2 箇所で開催して大人の学びの場の提供を行う。また、他団体が行っている研修会等の情報収集を行い、情報発信して学びの機会を増やし場の提供ができるような活動を目指します。

#### 2.テーマ別の継続的な学習への取り組み

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
学校 市社協	福祉推進校	検討	実施	—	—	—

##### \*具体的な内容

- ・小学生や中学生の学年別の福祉教育に関わるプログラムの検討を、福祉推進校と市社協が行い、学年（年齢）に応じたプログラムを活用して一貫した福祉教育が推進できる活動を目指します。

#### 3.地域人材の活用

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市社協	—	調査	実施	—	—	—

##### \*具体的な内容

- ・シルバー教室受講修了者や各種養成講座修了者等、また、地域で特有の特技のある人の状況の調査を行い、可能な限り人材バンクに登録してもらい、各種福祉活動の資源として広報誌等や市社協のホームページを活用しながら、地域人材の活用を目指します。

#### 4.当事者団体・家族会等の支援

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市社協	—	調査	実施			→

＊具体的な内容

- ・各当事者団体やその家族会等が、自主的に行っている活動内容等について実態調査を行い、より活動の内容が充実するように側面的な支援を行いながら、団体等の活性化を目指します。

#### 5.人材バンク・組織バンクの確立

主な担い手	対象地域	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市社協	—	調査	実施			→

＊具体的な内容

- ・個人や各種団体の状況の調査や、各種活動目標等で上がってきた人材及び組織等に登録してもらい、人材及び組織の有効活用を目的とした活動を目指します。



## ⑧実施目標一覧表

### 1.支えあえる地域・安心安全の地域

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
1.支えあい意識の向上	実施				→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
2.資源マップの作成	調査	実施			→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
3.各種イベントの発信	調査	実施			→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
4.地区社協の設立及び支援	実施				→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
5.福祉委員等の設置の検討	検討	→			

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
6.移送サービス等の検討	—	調査	検討	→	

### 2.交流の場・地域資源を活かした活動

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
1.ふれあい談話室事業の充実	実施				→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
2.あったかふれあいセンターの充実	実施				→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
3.つどいの場情報の確保	調査	実施			→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
4.地域資源情報の発掘及び発信	調査	実施			→

## 2.交流の場・地域資源を活かした活動

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
5.文化的な交流の場づくり	—	調査	実施	→	→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
6.学校の空き教室の有効活 用の検討	—	検討	→		

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
7.集会施設確保の検討	—	調査	検討	→	

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
8.買い物バスの運行の検討	—	調査	検討	→	

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
9.遊休農地活用の検討	—	調査	検討	→	

## 3.人材育成及び福祉教育の推進

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
1.大人の学びの場の提供	実施				→

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
2.テーマ別の継続的な学習 への取り組み	検討	実施	→		

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
3.地域人材の活用	調査	実施	→		

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
4.当事者団体・家族会等の 支援	調査	実施	→		

活動目標	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
5.人材バンク・組織バンク の確立	調査	実施	→		

## 4 各種資料

### ①地域での聞き取り調査の内容等

\*開催日時等の状況

平成 22 年

	月日	男	女	計	地区	場所	対象者	備考
1	7月28日		25	25	西土佐	口屋内サテライト	高齢・ボランティア	
2	7月30日		9	9	西土佐	中家地公会堂	高齢・ボランティア	
3	8月5日	2	11	13	西土佐	市営住宅内コミュニティールーム	高齢・ボランティア	
4	8月5日	3	8	11	西土佐	奥屋内下集会所	高齢・ボランティア	
5	8月7日	1	6	7	西土佐	西土佐総合福祉センター	高齢・ボランティア	
6	8月10日	4	24	28	西土佐	西土佐総合福祉センター	高齢・ボランティア	
7	8月17日	2	10	12	東部	串江集会所	高齢・ボランティア	
8	8月17日	1	4	5	西土佐	いちいの郷	施設職員	
9	8月18日	1	10	11	市街地	玉姫さくら会館	高齢・ボランティア	
10	8月19日		13	13	北部	であい集会所	高齢・ボランティア	
11	8月20日		16	16	市街地	びわの川 老人憩いの家	高齢・ボランティア	
12	〃		12	12	西部	田黒集会所	高齢・ボランティア	
13	〃		9	9	西部	中組集会所	高齢・ボランティア	
14	8月23日	1	13	14	市街地	玉姫さくら会館	高齢・ボランティア	
15	8月23日	2	10	12	北部	岩田集会所	高齢・ボランティア	
16	8月23日	4	11	15	西土佐	いちいの郷	高齢・ボランティア	
17	8月24日	1	14	15	北部	下分集会所	高齢・ボランティア	
18	8月24日	2	6	8	北部	三里集会所	高齢・ボランティア	
19	8月25日	0	25	25	東部	下田集会所	高齢・ボランティア	
20	8月25日	3	16	19	西部	横瀬集会所	高齢・ボランティア	
21	8月25日	2	14	16	東部	津蔵淵集会所	高齢・ボランティア	
22	8月26日		10	10	北部	明倫館(内川集会所)	高齢・ボランティア	
23	8月27日		9	9	市街地	羽生小路集会所	高齢・ボランティア	
24	〃		11	11	市街地	丸の内集会所	高齢・ボランティア	
25	8月28日	1	9	10	西土佐	用井集会所	高齢・ボランティア	
26	8月29日	5	11	16	西土佐	須崎集会所	高齢・ボランティア	
27	8月31日	3	13	16	市街地	ふれあい談話室藤の花	高齢・ボランティア	
28	〃	0	15	15	市街地	一条神社 社務所	高齢・ボランティア	
29	9月1日	6	12	18	北部	敷地つくし会	高齢・ボランティア	
30	9月1日	2	4	6	西土佐	権谷小給食棟	高齢・ボランティア	

	月日	男	女	計	地区	場所	対象者	備考
31	9月1日	1	3	4	西土佐	西土佐総合福祉センター	高齢・ボランティア	
32	9月2日		12	12	市街地	ぼっぼ	子育て中の母	
33	9月2日	2	2	4	西土佐	西土佐総合福祉センター	高齢・ボランティア	
34	9月2日	7	0	7	西土佐	西土佐総合福祉センター	高齢・ボランティア	
35	9月3日		18	18	市街地	ぼっぼ	子育て中の母	
36	9月3日	1	13	14	西土佐	藤ノ川集会所	高齢・ボランティア	
37	9月7日	1	8	9	市街地	丸の内集会所	高齢・ボランティア	
38	9月8日		11	11	市街地	丸の内 個人宅	高齢・ボランティア	
39	9月9日		10	10	西土佐	奥屋内上公会堂	高齢・ボランティア	
40	9月10日	3	10	13	東部	間崎集会所	高齢・ボランティア	
41	9月10日		7	7	西土佐	井上梅香自宅	高齢・ボランティア	
42	9月11日	2	15	17	西部	あかね館	高齢・ボランティア	
43	9月14日	3	22	25	東部	安並集会所	高齢・ボランティア	
44	9月15日	8	11	19	東部	平野集会所	高齢・ボランティア	
45	9月16日	1	14	15	東部	水戸避難所	高齢・ボランティア	
46	9月16日	3	8	11	西土佐	中組集会所	高齢・ボランティア	
47	9月16日	4	22	26	西土佐	岩間集会所	高齢・ボランティア	
48	9月17日	3	5	8	西土佐	西ヶ方小学校	小学生	
49	9月21日	6	7	13	東部	竹島集会所	高齢・ボランティア	
50	9月27日	21	23	44	東部	下田中学校	中学生	
51	9月27日	7	11	18	西土佐	本村半家集会所	高齢・ボランティア	
52	9月28日	9	8	17	西部	東中筋小学校	小学生	
53	9月28日	3	9	12	西土佐	橘集会所	高齢・ボランティア	
54	9月29日	21	15	36	東部	八束中学校	中学生	アンケート
55	10月6日	3	5	8	西土佐	ふれあいホール	若い父母	
56	10月7日	8	12	20	その他	身体障害者連盟	身体障害者	
57	10月7日	24	20	44	東部	下田小学校	小学生	アンケート
58	10月7日	1	8	9	西土佐	津野川集会所	高齢・ボランティア	
59	10月8日	6	3	9	北部	後川中学校	中学生	
60	10月8日	6	9	15	北部	大川筋中学校	中学生	アンケート
61	10月19日	7	5	12	北部	後川中学校	中学生	

## 地域福祉活動計画策定に向けてのアンケート調査（小中学生）

平成 22 年 月 日  
学校 年生

### この地域で生活をしていて

何かあれば、どんなことでもいいので自由にお書き下さい。

①良いところを教えてください。

（例・・・近所の人があいさつをしてくれる。）

②困っていることや不安と思うことがありますか。

（例・・・道路にゴミを捨てる人がいる。）

③地域ために自分が何かをしてみたいことはありますか。

（例・・・ボランティアでゴミ拾いをする。）

④自分達が大人になった時この地域がどんなになってほしいですか。

（例・・・たくさんの方がいて仲良く生活をしている。）

ご協力ありがとうございました。

## 地域福祉活動計画策定に向けての聞き取り調査表（一般向け）

平成 22 年 月 日

地区名（ ） 対象者（ ） 担当者（ ）

この地域で暮らし、活動していて考えたり、感じていることを教えてください。

この地域で暮らして（活動していて）

- 1 良いと感じること（どんなことでも）をあげてみてください。
  
- 2 困っていること（日常生活、地域生活、防災、その他）がありますか。
  
- 3 「こうしたい」等、改善したいと思う事（どんなことでも）がありますか。
  
- 4 「こうしたい」ということに力を貸してくれそうな人、グループ、団体は身近ありますか。
  
- 5 自分達の地域で改善してみたいこと（行政や関係機関の援助を受けることも含めて）がありますか。
  
- 6 今はできないけれど、近い将来地域や団体で取組みたいと思うことはありますか。
  
- 7 5年後（平成 27 年）、この地域がどんなになっていると良いか、考えてみてください。

四万十市社会福祉協議会

## \*聞き取り調査で出された意見等

### 小学生 聞き取り調査結果

#### ①地域の良いところを教えてください

- ・緑が多く、空気がきれいで気持ちいい。静かがいい
- ・近所のおじいちゃんやおばあちゃんみんな名前を知っていて挨拶してくれる
- ・近所の人優しい。困っている時に助けてくれる
- ・介護施設があるからいい
- ・森沢の川はきれいである
- ・学校の人がいさつをしてくれる
- ・中学生が挨拶をしてくれたり、声をかけてくれたりする
- ・家の近くの草をひいてくれた
- ・サーフィンが有名
- ・友達が優しくしてくれる
- ・神社をきれいにしている人がいる
- ・海があるから楽しく気軽に釣りに行ける
- ・四万十川がきれいなこと
- ・小学生が歩いていると、自転車のスピードをおとしてくれたり、自転車をついてくれたりする
- ・盆踊りがあって、地域の人仲良くなっている
- ・区長さんがいつも働き者なこと
- ・下地区も上地区も仲良しなこと
- ・ゴミがあまりない
- ・近所の人達がよく物を分けてくれる
- ・お祭りの時近所の人誘ってくれる
- ・近所の人たちに魚をあげると喜んでくれる
- ・落した物があったら区長さんが放送してくれる
- ・みんなが元気よく遊んでいる

#### ②困っていることや不安と思うことがありますか

- ・図書館がほしい
- ・映画館がほしい
- ・道路にゴミがある
- ・煙草を平気でポイ捨てる
- ・川が濁っていて汚い（ブラックバスがいっぱいいて鯉やはやんぼがない）
- ・公園が少なく遊ぶ場所がない（ブランコ等の遊具がない）
- ・道に人通りが少なく帰り道1人のとき怖い
- ・猿がいていたずらをする
- ・押しボタン信号の前後の見通しが悪く車が信号無視をする時がある
- ・店が少ないので増やしてほしい
- ・お菓子を売る店が少ないからふやしてほしい
- ・文房具屋をふやしてほしい
- ・信号が青になるのが遅い
- ・自動販売機が少ない
- ・煙草の吸殻が多い
- ・ガードレールを増やして欲しい
- ・坂が急で危ない
- ・坂が多すぎる
- ・海にゴミを捨てている
- ・中学生などが大勢で横に並んで歩いてくるのを直して欲しい
- ・浜に流木が多く流れ着いているからのけてほしい
- ・学校周辺に犬のフンをおきっぱなしにしないでほしい
- ・お年寄り歩道を通って欲しい

- ・信号無視をしている人がいる
- ・松の山を出て道路の方に草がいっぱいあるからひいてほしい
- ・挨拶しても無視したり顔を見てくれない
- ・危ない自転車の乗り方の人がいる
- ・人が歩いているのに平気で車をとばす
- ・車のクラクションを平気で何回もうるさくならず
- ・自転車に乗っているおじさんがぶつかりそうになって逆ギレされる
- ・県外ナンバーの人たちが変なことを言う
- ・観光客が車を道に止めている(理由：急に車を動かされたらこわい)
- ・通学の時に通る十字路が車が見えないから危ない
- ・道が狭い
- ・中村まで行くのに時間がかかる

### ③地域ために自分が何かをしてみたいことはありますか

- ・川や道路のゴミ拾い
- ・海のゴミ拾い
- ・ゴミの分別
- ・ブラックバスを釣って駆除する(購入してくれる所を増やす)
- ・リサイクル活動に参加する
- ・お年寄りに優しくしたい
- ・買物で出たゴミを持ち帰る
- ・神社の掃除
- ・お年寄りとゲートボールをしてみたい
- ・お年寄りと昔遊びをしてみたい
- ・お年寄りともっと仲良くなり、一緒に遊びたい
- ・お年寄りの手伝いをする
- ・ボランティアでおじいちゃん、おばあちゃんを助けてあげたい
- ・草刈りをしたい
- ・串江の人たちで串江で遊びたい
- ・自分のゴミは自分で持って帰る(ゴミを捨てないようにする)
- ・地域の人達と(お年寄りなどでもできる)レクなどをしたい
- ・四万十川をきれいにする
- ・地域をもっときれいにしたい(地域の掃除)
- ・挨拶をする
- ・目の悪い人を助ける
- ・保育園に行って活動したい

### ④自分達が大人になった時この地域がどんなになってほしいですか

- ・いろんな遊ぶ所が増え、コンビニも出来たらいい
- ・川がきれいで緑が多く、ゴミがなく公園がある地域(自然豊かな地域)
- ・鶴がいっぱい来て自然が多く観光客が多い地域
- ・自然がいっぱいできれいな海で人がたくさんいる地域
- ・観光スポットがある
- ・たくさんのお店がある町(お菓子屋、雑貨屋、文房具屋、本屋、スーパー等)
- ・誰でも挨拶ができる町
- ・大人も子供も気軽に遊べる大きいゲームセンターや遊べる場所などがある活気ある町
- ・有名な町になってほしい
- ・たくさんの人がボランティアに参加して、ゴミ拾いや掃除をしてキレイで清潔な町
- ・四万十川がきれいで、みんなが仲良く生活している
- ・挨拶や笑顔がいっぱいな町
- ・元気いっぱい子供からお年寄りまでみんなが楽しく健康で生活している地域
- ・とても町がキレイになって、賑やかに暮らしている
- ・みんなが仲良く、大人が都会より自然豊かなここがいいと思える地域



- ・古い物等を大切にしている人がたくさんいる地域
- ・地球に優しい人がたくさんいる地域
- ・今と変わらない時代
- ・人を大切にしている地域
- ・近所の人達が自分をわかっていてくれる地域
- ・みんなが協力し支えあって仲良く暮らしている地域
- ・②の問題がなくなるといい
- ・ゴミを捨てる人がいない町
- ・明るく優しい、仲良がいい楽しい生活
- ・県外の人達のために下田にホテルを建ててほしい
- ・都会みたいになってほしい
- ・ゴミがなく、みんなが明るく元気に暮らしている地域

## 中学生 聞き取り調査結果

### ①地域の良いところを教えてください

- ・近所の人親切で優しい
- ・元気で明るい。挨拶ができています。笑顔が多い
- ・仲間、近所付き合いがいい。困ったことがあれば助けてくれる
- ・自然がいっぱい。空気がいい。大文字山がある
- ・地域の人学校行事に参加してくれる
- ・太鼓台や新踊りなど地域の文化がある
- ・騒音が少ない
- ・挨拶ができています
- ・ボランティアができています
- ・困った時に寄れる家がある
- ・周囲に気をつけてくれる人がいる
- ・ゴミが少なくなっている
- ・地域の伝統行事が残っている
- ・近所ゴミを拾っている
- ・地域でゴミ拾いやレクなど積極的に行っている
- ・泳ぐ場所がある
- ・便利な建物がある
- ・野菜をくれたりする
- ・色々な体験ができる
- ・知り合いがたくさんいる
- ・地区の皆が仲が良い。フレンドリー
- ・川が近くにある
- ・優しいおじいちゃんおばあちゃんがいる
- ・気軽に話しかけてくれる

### ②困っていることや不安と思うことがありますか

- ・ゴミ（缶、煙草等）が多く目につく。公共の場にもゴミや落書きが目立つ
- ・町が遠い。スーパーがなく不便
- ・遊ぶ場所がない。公園等
- ・電灯が少ない。夜間自転車で帰るのが怖いし不気味で不安
- ・子どもが少ない。若い人
- ・道が悪い。（ガタガタ・狭い）
- ・歩道が少ない
- ・信号無視が多い
- ・ダンブが多く危ない
- ・車のマナーが悪い。トンネル内で涼んでいる人がおり危ない
- ・道路に座りにらみつけてくる人がいる

- ・お年寄りの交通マナーが悪い。車を確認しないで道を渡るので事故が起きそう
- ・周囲にあまり人が少ない為暗くなった時に寂しい
- ・山で太陽が隠れやすい
- ・カーブミラーがなく自転車の運転が危ない
- ・雑草が多く生えている
- ・川が汚くなっている
- ・不審者が出るため不安がある
- ・高瀬の沈下橋の下の石をのけてほしい
- ・見えない所にゴミを捨てている
- ・観光客が川にゴミを置いて帰る
- ・無駄な工事や、誤った看板
- ・住人が少なくなっている
- ・近くに病院がない

### ③地域ために自分が何かをしてみたいことはありますか

- ・地域一斉清掃を手伝う。草引きをする
- ・お年寄りと交流をする。子どもたちと遊ぶ
- ・挨拶をする
- ・ゴミを少なくしエコバックやリサイクルを活用する
- ・農家の大変さを知る為体験を行う
- ・周囲に草花を植えたい
- ・道路に止めている車の人に注意をしたい
- ・夜間パトロール
- ・地域の人を集めて楽しいことをしたい
- ・高齢者の為に何かを考えたい
- ・バザーや収穫祭をしてみたい
- ・ゴミ拾い
- ・ポイ捨てをしないようにする
- ・花を植える
- ・川などで遊んで楽しそうに見せる
- ・人のためになることをする
- ・危険な所へ看板を建てる

### ④自分達が大人になった時この地域がどんなになってほしいですか

- ・ゴミが少ない
- ・助け合って生活をする。避難時等声けができるような体制
- ・きれいな自然であって欲しい。川や海がきれい
- ・子どもが増えて欲しい。お年寄り一人でも寂しくない社会
- ・店が増えて欲しい
- ・治安のいい街であって欲しい
- ・みんなから愛される下田であって欲しい
- ・都会になって欲しい
- ・町が活性化している。地域の交流を大切に継続できている
- ・交通の便が良くなっている。事故が無くなって欲しい
- ・ビルが建って欲しい
- ・景気回復
- ・いつまでも明るくきれいで安全な街であってほしい
- ・挨拶ができる
- ・現在のままでよい
- ・高齢者が多いので施設があればいい
- ・伝統行事がずっと残っていて欲しい
- ・便利な店ができて欲しい
- ・若い人を増やしたい

- ・大川筋の人口がもっと増えてほしい
- ・良いニュースがあふれるような所
- ・イベントがいっぱいある
- ・沈下橋があればいい。沈下橋から飛び込めるようになっていればいい
- ・色んな人が仲良くて、賑やかであってほしい
- ・過疎化問題を解決し、賑わいを取り戻してほしい
- ・仕事する場所があればいい

## **子育て中のお母さんグループ 聞き取り調査結果**

### **参加者の構成**

地域子育て支援センター利用中のお母さん（保育士）

- 1.良いと感じること（どんなことでも）をあげてみてください
  - ・怪しそうな人がいない
  - ・悪い人に会わない
- 2.困っていること（日常生活、地域生活、防災、その他）がありますか
  - ・託児所が一杯で急な時に預かってくれない（通常預けている人が優先的になっている）
  - ・公立の幼稚園がない
  - ・保育所は1歳半からしか預かってくれない。もう少し小さいうちから預かってほしい
  - ・公立の一時保育がない（公立の託児所）
  - ・母親がけが等の時（緊急時）、仕事を休まないと
  - ・母子で集まる所がない。また、地域子育て支援センターは、土日が休みなので集まれる所がない
  - ・近場で、集まる所がない(地域子育て支援センターは遠い)
  - ・病児保育をしてもらいたい
  - ・仕事につきにくいので、延長保育をしてもらいたい（午後7時ぐらいまで）
- 3.その他
  - ・高速道路が早く出来ればいい
  - ・地域に公園がない。遊具等もなく車で公園までいかないといけない（双海）
  - ・子どもが2人だと買い物の時、カートが必要で大きなスーパーで買い物をしている

## **身体障害者 聞き取り調査結果**

### **参加者の構成**

身体障害連盟加入者

- 1.良いと感じること（どんなことでも）をあげてみてください
  - ・近隣との関係はよく何かあれば相談や手助けはしてくれる。
  - ・伝統芸が残っている。
- 2.困っていること（日常生活、地域生活、防災、その他）がありますか
  - ・健常者の駐車マナーが悪い。平気で身体障害者専用駐車場に止めている。
  - ・外出が思うようにできない。
  - ・毎週、家庭ゴミを捨てることが大変。せめて自宅前に置くことができれば助かる
  - ・障害者の集まる場が少ない。
- 3.その他
  - ・市民病院（救急）は絶対に残さなければならない。

## 市街地グループ 聞き取り調査結果

### 参加者の構成

ふれあい談話室世話人及び参加者（保健師、幡多保健所職員・研修員）

#### 1. 良いと感じること（どんなことでも）をあげてみてください

- ・近くに店があり買物がしやすい
- ・自然が多い、涼しい
- ・認知症の話し相手になっている人がいて心強い
- ・今の地区がいいからよそには引越しをしたくない
- ・昔からの近所づきあいがある
- ・えいボランティアグループがあり生きがいになっている
- ・お互いに見守りが出来ている
- ・週1回体操をしている
- ・モーニング（朝食）時がふれあいとなっている
- ・いろんな店や病院が多く住みやすい
- ・福祉タクシーの便利がよい
- ・談話室がある

#### 2. 困っていること（日常生活、地域生活、防災、その他）がありますか

- ・年金がすくない
- ・バスの便が少ない。タクシー代がかさんでしまう
- ・一人暮らしで確認してくれる人も少なく寂しい
- ・駐車場が少ない
- ・気軽に集まって談笑できるような場所がない
- ・若い人の交流がない
- ・街中や堤防に犬の糞をそのままにしている為困っている
- ・もう少し店の閉店時間を延ばしてもらいたい
- ・外出しても、どこでも座って休める場所を作ってほしい
- ・アパート・マンションの人との付き合いがほとんどない
- ・アパート・マンションの人は区に入らない人がいる
- ・個人情報との関係で新しい人との付き合いが出来にくくなっている
- ・若い人は引っ越ししてきても挨拶に来ないのでだれかわからない
- ・近隣の関係がなく、行事等に参加してくれない
- ・身体的な理由などふれあいに参加できない方もいる
- ・救急医療が市内にあってほしい
- ・町バスの使いやすいようにしてほしい
- ・側溝など環境が悪く水がたまり困る。大雨の時が不安
- ・路面等が悪く整備してほしい
- ・近隣との関係が希薄。何かあっても頼めない
- ・夜間の対応の病院が欲しい
- ・独居以外にも高齢者世帯にもいろんな施策をしてほしい
- ・坂道が多く移動には大変

#### 3. その他

- ・若者が少なくなった。交流がない
- ・町が寂れてきたので昔みたいになってもらいたい
- ・店舗数が多くなってもらいたい
- ・入院等が目立ち空き家が多くなっている
- ・介護保険の利用がわからない。早急に対応してくれない
- ・10年先が不安
- ・社会保障を充実してもらいたい
- ・避難場所を知らない

- ・高齢者ばかりになってきた
- ・市長に公約を果たしてもらいたい。病院関係
- ・今後地震等災害時が不安
- ・地区に相談ができるような社協職員を配置してもらいたい。相談等ができる
- ・介護保険料が高い
- ・色々な情報がほしい
- ・介護保険に該当しなくても低額で自由に利用できるヘルパーがあればいい
- ・店が買物後に品物を運んでくれたり、注文をとってくれたりすることをして欲しい

## 中村東グループ 聞き取り調査結果

### 参加者の構成

ふれあい談話室世話人及び参加者、保健師

#### 1.良いと感じること（どんなことでも）をあげてみてください

- ・5～6人で集まって涼むところがある（集まって話す場所がある）
- ・近隣や班の人の付き合いがよい
- ・子どもの声が聞こえて楽しい
- ・買い物を見繕って届けてくれる店がある
- ・談話室に來れない人のお宅に訪問して話し相手になっている
- ・談話室の弁当を自宅で作っている（調味料などの関係）
- ・ふれあいに來なくなれば、仲間が声かけをし確認をしている
- ・近くに数件店があり助かる
- ・親戚などもいて昔ながらの付き合いができています
- ・地域がえいから、離婚などをして出て行った人はおらん
- ・みんなが地域で採ったものを分け合う
- ・一人暮らしでも、みんなが気にかけてくれる
- ・まとまりのある地域でみんな話がしやすい
- ・年齢層に関係がなく住民の関係がよく協力体制がとれている
- ・祭りがありがあり、今後も頑張って継続していきたい
- ・自然が多く、空気がよく涼しい
- ・市内も近くちょうどの所で便もいい
- ・施設（特養等）もあり安心する
- ・団体で近隣の清掃をしている
- ・店がないが週に3回行商がある
- ・避難場所がある。（普段は自由使用でき集いの場になっている）
- ・談話室が活発である
- ・男性の集まりがよい
- ・年に2回地域を清掃している。老人クラブ
- ・介護タクシーがもっと多くあればいい

#### 2.困っていること（日常生活、地域生活、防災、その他）がありますか

- ・子どもの声が聞こえないので寂しい
- ・店が1件しかないので買い物に困る（持ってきてもらえるが自分で品物を選ぶことが出来ない）
- ・バスの便数が少なく買い物等に困る。増便したらいい（病院にも行けない）
- ・精神等に障害がある人が近所にいて言動等で怖い思いをすることがある
- ・話し相手がほしい
- ・人の出入りがあり回覧板等でお知らせはくるが、名前と顔が一致しない（特に新しい人はわからない）
- ・ダンプが通り砂が家の中に入ってくる
- ・昔に比べ行事等の参加者が少なくなった。高齢もあるが
- ・道が狭い、信号を守らない人がおり道を渡るのが危険。どうにかしてほしい
- ・昔は移動販売が来ていたが、最近はこなくなって困っている（自分のほしいものが買えない）

- ・男性の参加が少ないので活気がない
- ・広報など字が小さいことやカタカナ言葉が多く理解しにくい
- ・集会所の場所が悪く身体的に不自由な人には不便
- ・歩道の舗装が悪く不安が強い
- ・水門の水の音がうるさく気になり寝付けない
- ・市内に出た時歩道がない為歩くのが不安
- ・地区社協があつたらいいが、代表者がいない
- ・年をとると田畑の管理が困難になりどうにかならないものか
- ・ふれあいの内容（話題）が少なくこまっている
- ・外部から移り住んできた人の関係が築きにくい
- ・高齢者等見守りや地域の把握ができていない
- ・老人クラブ等加入が少ない
- ・介護タクシーがもっと多くあればいい

### 3. 「こうしたい」等、改善したいと思う事（どんなことでも）がありますか

- ・津波時の避難路は、階段が多く足腰が弱いので心配である
- ・1人暮らし宅に週1回くらい訪問して話し相手になってくれたらいいと思う
- ・1人暮らしの人が家のどの部屋に寝ているか地域で話をしたらいいと思う
- ・ふれあい談話室の回数を増やしてほしい（みんなで話し合う機会を増やしたい）
- ・自分たちで買い物ができるようにしたい

### 4. 自分達の地域で改善してみたいこと（行政や関係機関の援助を受けることも含めて）がありますか

- ・見守りや独居が抱えている悩みを、民生委員を中心に把握したい。連携をとりたい

### 5. その他

- ・デイサービスの後の買い物に連れて行ってくれるのがうれしい
- ・子どもが少なく、高齢者が多くなってきている
- ・老後が不安。この地区で施設をつくってもらいたい
- ・既存施設をなんとか利用できないか
- ・ふれあい談話室、話題の提供などを受けたい。マンネリ化している
- ・ふれあい談話室の補助金等もう少し財政的な支援が欲しい
- ・荒地を生かし草花を作つたらいいと思う
- ・地区に世話役人がいたら助かる

## 中村西グループ 聞き取り調査結果

### 参加者の構成

ふれあい談話室世話人及び参加者

#### 1. 良いと感じること（どんなことでも）をあげてみてください

- ・近隣が気にかけてくれる。頼れる人が多い（アパート・マンション等は除く）
- ・周辺に友達が多い
- ・月に数回ごみを拾ってくれている
- ・自然が多い。静かでいい
- ・昔ながらのこう組の付き合いはいい
- ・子どもたちがよくあいさつしてくれるようになった
- ・コモンズは、頼めば配達をしてくれる
- ・団体があり、地元のあぜ等を刈ってくれて助かる
- ・アパート・マンションを除き、近隣との関係はいい

#### 2. 困っていること（日常生活、地域生活、防災、その他）がありますか

- ・近くに店がない。買物が大変
- ・バスの使い勝手が悪い（まちバス・馬越まで運行してもらいたい）  
（市のバスで対応してくれているが週に3回しか利用できない・運転手の対応が悪い。小さい車

で自宅付近前まで来てもらったら助かる)

- ・タクシーは高い為バスを利用するが、バスの回数が少ない
- ・月に数回は訪問するなどして声をかけてもらいたい
- ・若い人が行事に参加しない
- ・区費を払ってくれない(区に加入しない人がおる)
- ・昔から住んでいる人と新しい人との交わりがない
- ・人間関係が希薄
- ・区の総会に出てこない人が多い(お金を出せば済むと思う人がおる)
- ・道が悪く自転車等でこけそうな時がある
- ・バス停までの移動が大変
- ・盗難事件がある
- ・買物において、荷物を運ぶのが大変。協力してくれるところがあったらいい

3.「こうしたい」等、改善したいと思う事(どんなことでも)がありますか  
・独居老人で近隣との関係が希薄な人は名簿を作り声かけをしていきたい(婦人部)

4.自分達の地域で改善してみたいこと(行政や関係機関の援助を受けることも含めて)がありますか  
・道で会ったら声の掛け合いをしたい(自分たちが率先して)  
・近所の人のことを気にかけるようにする

5.その他

- ・自分の地域の民生委員を知らない
- ・ふれあいや老人クラブの活動で定期的に自宅に訪問し呼びかけをおこなっているが加入者はほとんどいない
- ・市庁舎内がわかりにくい(案内の人がわかる場所におってほしい)
- ・まちバスを市直営でやってもらいたい
- ・子ども手当もいいが、高齢者にも優しい市であってほしい
- ・若者が少ない。仕事がない
- ・地区の近くに入所施設があればいい
- ・アパート・マンションや外国人等の関係が気づきにくい
- ・困っていることなど状況を把握してくれる人がいたらいい

## 北部グループ 聞き取り調査結果

### 参加者の構成

ふれあい談話室世話人及び参加者

- 1.良いと感じること(どんなことでも)をあげてみてください
- ・近くに店がある。買物には困らない(店の人が届けてくれる)
  - ・隣の地区の店が移動スーパーをやってくれて助かる
  - ・独居等年齢で違いはあるが声かけ等安否確認を行ってくれる人がいる
  - ・外出できない人に対して一般の行商の人が近くまで寄ってくれる(地区限定)
  - ・地域性から誰でも受け入れてくれる
  - ・良心市がみんなのふれあいの場になっている
  - ・良心市に作物を出す事が生きがいになっている方が多い
  - ・人情が豊かで近隣の付き合いが良い。何かあっても相談はできる
  - ・民生委員が色々とお世話をしてくれる
  - ・地区に世話人的な人がいる
  - ・近隣との関係が良い(地区外から帰ってきたら安心する)
  - ・友人が誘ってくれ外出時には便乗ができる
  - ・冠婚葬祭などでの付き合いがある
  - ・市の僻地バスは結構融通がきく
  - ・この地区がいいので離れたくない

- ・回覧板は手渡し（いないときはポスト）
- ・小遣い制度がある（地域全戸での順番制）
- ・お米が美味しい地区である
- ・1～2日姿が見えないとそこの家のことが気になる
- ・自然がいっぱいあり安心して暮らせる
- ・一人暮らしやけどこの地区の人がいいからここに住みたい
- ・談話室事業が毎週あるので、一条の里には行かなくてすむ
- ・保健師が隔月、医療生協が隔月で毎月健康チェックをしてくれるので助かる
- ・配り物は1か月ごとの輪番制となっておりみんなで協力してやっている
- ・連帯感がある地域である
- ・どんな時でも隣が一番助けてくれる
- ・地域に1泊旅行に行っている
- ・人の悪口を言う人はいない
- ・地区の人の寝ている部屋まで知っている
- ・地区でこう組がある

## 2.困っていること（日常生活、地域生活、防災、その他）がありますか

- ・隣人の人との関係が悪い
  - ・バスが通らないのは困るがバスの便が少ない。小型バスを出して欲しい
- ・車の量も多く飛ばしてくる為横切ることも危ない
- ・日曜日は店が閉まっているため買物ができない
- ・ボランティア精神に欠けている人が多いように思える
- ・買物や病院に思うようにできない。交通機関の問題
- ・昔の向こう三軒両隣の関係が薄くなってきている
- ・自分だけが良かったらいい人が増えてきた
- ・水道がないので困る（増水時ポンプを高い所に移動しなくてはいけないが高齢になるとできなくなる）
- ・地域で残って生活している人は偏屈な人が多い
- ・県道から歩いて40分の所に住んでいる80歳の1人暮らしの方の安否確認がしにくい
  - ・談話室でレクリエーションや100歳体操をやりたいが、指導者がいないので指導にきてほしい
  - ・大雨の時、道路が冠水して救急車が入れないので心配である

## 3.「こうしたい」ということに力を貸してくれそうな人、グループ、団体は身近にありますか

- ・困った時は、地区社協が助けてくれる
- ・郵便屋さんが見守りをしてくれる
- ・青年団がなくなり寂しいが婦人会がやってくれる
- ・

## 4.その他

- ・何か相談したくてもどこに相談していい分からないことがある
- ・市内のような町バスや週に1回でも買物ができる移動バスがあれば便利
- ・バスのステップが高く乗り降りが大変
- ・ふれあい談話室が同地区に2箇所あり後期高齢者と前期高齢者が分かれている（1つになればいいと思う）
- ・子どもが少なくなり、若者の仕事も少ない

## **西土佐グループ 聞き取り調査結果**

### 参加者の構成

サロンやお茶のみ会の参加者やボランティア・あったかふれあいセンター職員・西ヶ方小学校など

## 1.良いと感じること（どんなことでも）をあげてみてください

- ・住民同士が仲が良い



- ・いろいろな活動があるし、参加しやすい
- ・人と人のつながりを感じる。遊遊サロン等
- ・地域の見守り力を感じる
- ・皆、友達である
- ・社会福祉協議会のすばらしい生きがい教室で幸せを感じる
- ・どんな集会をしても、地域参加者皆協力的で楽しいムードで会場が盛り上がる
- ・四万十の清流のように素朴で純真な人間性
- ・社協を中心とした各種活動が盛んなこと
- ・用井は地理的に中心で便利である
- ・高齢者が月 1 回お茶のみ会をしてくれ助かっている
- ・地域の人が学校の行事に参加してくれる
- ・元気の出る挨拶をしてくれる
- ・困ったときに助けてくれること
- ・悪い人がいなくて良い人ばかり
- ・みんなが仲良しである
- ・登下校中、声をかけてくれる
- ・給食のときに野菜をされる

## 2.困っていること（日常生活、地域生活、防災、その他）がありますか

- ・交通の便が悪い
- ・地域の道路にガードレールや白線が少ない
- ・交通機関の不便さ
- ・生活必需品・生鮮食品などの買い物ができない人が多くなっている
- ・地域に若い人がいない
- ・お嫁さんのきてがないこと
- ・結婚しない人が多いこと
- ・バイクに乗っているのに郵便局に屋根のある駐車場がなくて困っている
- ・西土佐総合支所(役場)の上に図書館があるが上がりにくいし不便
- ・イベントや講習会等があっても交通の便が悪いので、参加できなくて困る
- ・病院に行くときに困る。特に愛媛県側
- ・一人暮らしのため急病のとき困る
- ・山崩れの心配がある
- ・一人暮らしのため台風のとき心配
- ・急な用事ができて夫をショートステイに預けたいと思っても、今はなかなか決められた日以外は見てもらえない
- ・奥屋内の道は、川から向こうが繁って見通しが悪い。危険である
- ・消火器の古いのがあり期限切れとなっている。点検や交換はどうしたらいいか困っている
- ・高齢者講習のため中村までバイクで行って大変な思いをした
- ・ひまわり健診を後期高齢者はしてもらえなくなった。情けない思いだ
- ・病院に行く便、買い物に行く便に困る
- ・診療所に眼科の専門がない
- ・役場の下に壊れた家があり、見た目も悪い。トイレそのまま残っている
- ・ラジオが入りにくい
- ・藤ノ川の入り口の看板が見にくくなっている
- ・川崎橋のところの中西から歩道の境、金の段差がある。傾くところが二箇所あり、電動車はかなり怖い
- ・ひまわり健診だけでなく、メタボの検診や前立腺等、年齢で見てもらえないことがある。理由を知りたい
- ・ごみのポイ捨てをする人がいる
- ・トラックをすごく飛ばす人がいるので怖い
- ・タバコやごみが道によくある
- ・夏休みなど県外の車が多くて困る
- ・横断歩道が消えかかっている所がある

- ・タバコを子どもの前で吸う人がいる
- ・木が倒れかかっているところがある
- ・道の真ん中に自転車とかを置いている

### 3. 「こうしたい」等、改善したいと思う事（どんなことでも）がありますか

- ・今よりもっと隣近所の助け合いがほしい
- ・中学生の子どもが学校への通学バスの充実
- ・早朝練習や遅い時間帯のスクールバス
- ・図書館機能、文化機能(コンサート等)の充実
- ・診療所以外の病院への送迎
- ・交通手段の充実
- ・こまわりのきくバスを定期的に走らせてほしい
- ・用井には温泉がある。せっかく温泉を利用して一般の人が利用できるプールがほしい。健康づくりにつなげていきたい)
- ・道路、特に西土佐松野線の早期改良をしてほしい
- ・中組飼育所でふれあい談話室をしているが、トイレを洋式にしてほしい
- ・奥屋内から宿毛のけんみん病院に行く送迎バスがほしい
- ・何人かが話し合い、グループで買い物に行けるデマンドバスがほしい
- ・いちいの郷がやっている買い物サービスをぜひ続けてほしい
- ・デマンドバスに障害者が乗りたいことがある。運転だけでなく介助もしてもらえるように
- ・聴覚障害者の補聴器はとても不便。補聴器についてのケアはないものか。専門家と繋いでほしい
- ・家族を介護している人を息抜きさせてあげてほしい
- ・いちいの郷をぜひ続けてほしい。昼だけでなく夜も高齢者を預かってほしい
- ・診療所は絶対なくしてほしくない
- ・いきがい教室やふれあい談話室をなくしてほしくない
- ・保健師さんにもっと来てほしい
- ・高齢者講習を西土佐でできるようにしてほしい
- ・家のすぐ下まで来てくれるバス(車)がほしい
- ・いちいの郷でお風呂が入れられるようにしてほしい
- ・診療所に月に一回でいいから、耳鼻科や眼科の専門が来てほしい
- ・安否確認のできる電話のシステムを作ってほしい
- ・廃校を利用してグループホームにしてほしい
- ・すすんでごみ拾いをする
- ・お年寄りに声かけをする
- ・募金活動に参加する
- ・高齢者や障害者のお手伝いをしたい
- ・あったかふれあいセンターぴーすやいちいの郷を絶対なくしてほしくない
- ・バスは大事。バスをなくさないでほしい
- ・奥屋内でも講座等をやってほしい
- ・食事のできるサロンをやってほしい
- ・江川崎駅が無人になるとさみしくなる
- ・福祉タクシーがほしい
- ・デイサービスを地区ごとにやってほしい
- ・葬式をあげる場所として廃校になった校舎を活用してほしい

### 4. 「こうしたい」ということに力を貸してくれそうな人、グループ、団体は身近ありますか

- ・若い人たちがいます
- ・ふれあい談話室の仲間
- ・老人クラブ
- ・せせらぎ交流館活動
- ・近所同士の連携
- ・NPO いちいの郷
- ・大宮産業

- ・あったかふれあいセンターぴーす

5.自分達の地域で改善してみたいこと（行政や関係機関の援助を受けることも含めて）がありますか

- ・隣同士で連絡をとる
- ・廃校の校舎の利用
- ・地域外の人や若者等が気楽に集える場所
- ・車に乗れない老人の手助けを日常的にやる
- ・働く施設の誘致
- ・地域の絆を深める

6.今はできないけれど、近い将来地域や団体で取組みたいと思うことはありますか

- ・地域の食材を県外に向けて発信する
- ・昔のやり方での豆腐や大豆づくり等
- ・廃校を利用してのグループホームづくり
- ・介護施設
- ・地域の特産を加工販売することで地域を活性化する
- ・地域の伝統芸能を大切にしたい
- ・廃校の校舎を地域の高齢者の憩いの場に
- ・温水プールをつくる
- ・旅行に行きたい
- ・廃校を利用して養老介護施設の開設
- ・津野川小学校が川崎に統合されたら校舎を葬祭センターとして使えたらいいと思う

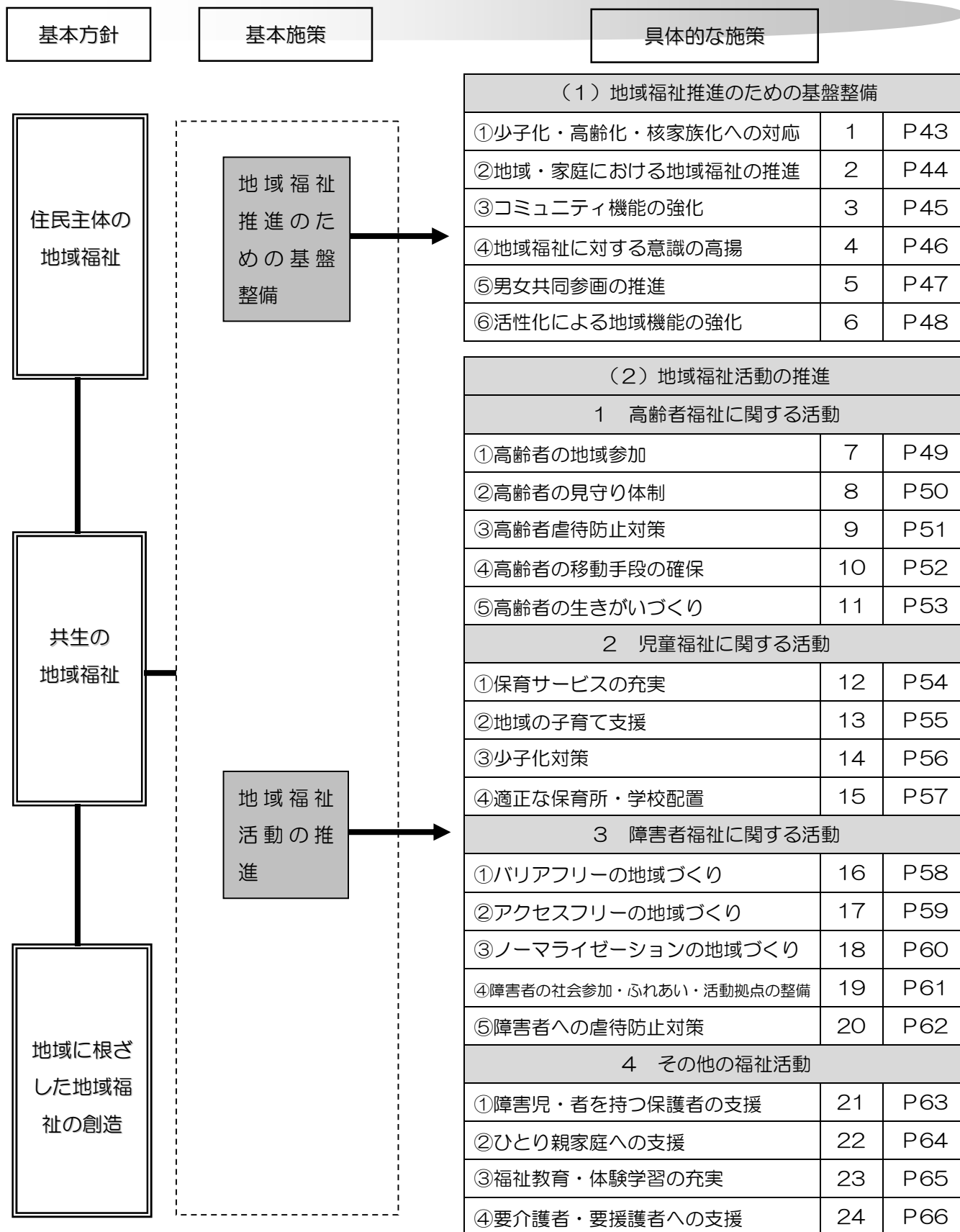
7.5年後（平成27年）、この地域がどんなになっていると良いか、考えてみてください

- ・地域外の人を含めて、若者、子どもが増えてほしい
- ・グループホームできてほしい
- ・自立して生活できる人が多くなってほしい
- ・若者も帰ってきてみんなが楽しく（働くところがあって）生き生き暮らせる地域
- ・限界集落ではなく生き生きした集落
- ・いちいの郷のケアハウス化。24時間を過ごせる施設を希望する
- ・若い人に仕事を確保する
- ・木材活用の道を開く
- ・江川崎の人は土佐で働いて、買い物は伊予にいく現状にあります。道路状態、交通便を良くする
- ・高齢者が施設に入りたいと思えば、いつでも入れるようになってほしい
- ・若い人が少なくなり、年寄りだけの家族が多くなると思う
- ・元気で自分の好きなことができるとうい
- ・高齢者が安全に暮らせるようになってほしい

②四万十市地域福祉計画 計画の体系図（40頁～41頁援用）

第4章 計画の施策の展開

1 計画の体系図



基本方針

基本施策

具体的な施策

住民主体の  
地域福祉

関連分野  
(保健・医療・福祉等)の連携

(3) 関連分野 (保健・医療・福祉等) の連携		
①医療体制の確保	25	P67
②利用者・介助者の視点に配慮した公的サービスの充実	26	P68
③ライフステージに応じた健康づくり	27	P69
④相談支援体制の整備	28	P70
⑤情報提供体制の充実	29	P72

共生の  
地域福祉

安全・安心・快適な生活の場づくり

(4) 安全・安心・快適な生活の場づくり		
①防災体制の整備	30	P73
②災害時、災害復旧・復興対応の整備	31	P74
③災害時要援護者の把握	32	P75
④防犯体制の充実	33	P76
⑤生活環境の整備	34	P77
⑥交通安全対策	35	P78
⑦地域生活の利便性向上と保護 (消費者対策)	36	P79
⑧高齢者・障害者・子育て世帯の居住環境の整備	37	P80
⑨バリアフリーの地域づくり (再掲)	38	P81
⑩高齢者の生きがいづくり (再掲)	39	P82

地域に根ざした地域福祉の創造

地域福祉推進体制の整備

(5) 地域福祉推進体制の整備		
①連携体制づくり	40	P83
②地域における福祉の人材の確保と育成	41	P84
③ボランティア活動の支援	42	P85
④市内及び広域のネットワークづくり	43	P86

### ③社会福祉法 抜粋（参考）

#### （目的）

第1条 この法律は、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項を定め、社会福祉を目的とする他の法律と相まって、福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉（以下「地域福祉」という。）の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的とする。

#### （地域福祉の推進）

第4条 地域住民、社会福祉を目的とする事業を經營する者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

#### （市町村地域福祉計画）

第107条 市町村は、地方自治法第2条第4項の基本構想に即し、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、住民、社会福祉を目的とする事業を經營する者その他社会福祉に関する活動を行う者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるとともに、その内容を公表するものとする。

- 1 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- 2 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- 3 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

#### （市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会）

第109条 市町村社会福祉協議会は、一又は同一都道府県内の2以上の市町村の区域内において次に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であって、その区域内における社会福祉を目的とする事業を經營する者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、かつ、指定都市にあってはその区域内における地区社会福祉協議会の過半数及び社会福祉事業又は更生保護事業を經營する者の過半数が、指定都市以外の市及び町村にあってはその区域内における社会福祉事業又は更生保護事業を經營する者の過半数が参加するものとする。

- 1 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- 2 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- 3 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- 4 前3号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

#### ④四万十市地域福祉活動計画策定関係者等名簿

##### 策定委員

	役職	氏名	所属・団体	前任者
1	委員長	坂本 登志行	四万十市中村地域民生委員児童委員協議会	
2	副委員長	中之所 克己	四万十市老人クラブ連合会	
3	委員	武田 正	四万十市中村地域区長会	
4	〃	片山 恵正	四万十市西土佐地域区長連絡協議会	榎木久夫 稲田美文
5	〃	坂井 逸男	四万十市西土佐地域民生委員児童委員協議会	河野信夫
6	〃	佐竹 直美	竹屋敷地区社会福祉協議会	
7	〃	中平 嘉子	西土佐ボランティア連絡協議会	
8	〃	山崎 隆右	四万十市身体障害者連盟	
9	〃	宮地 英子	四万十市連合婦人会	
10	〃	渡辺 和博	四万十市福祉事務所	浜田幹夫
11	〃	松田 正	四万十市保健介護課	

##### 作業部会委員

	役職	氏名	所属・団体	備考
1	部会長	坂本 登志行	中村東町地区民生委員児童委員	
2	副部会長	中之所 克己	大川筋下流老人クラブ	
3	委員	岩合 久	古津賀第2団地地区社会福祉協議会	
4	〃	芝 伸悟	えっころネット	
5	〃	田頭 義十郎	中村東町3丁目区長	
6	〃	谷 陽	あゆみ共同作業所	
7	〃	長崎 光正	中村地域小中PTA連合会	
8	〃	津野 はつみ	岩間地区民生委員児童委員	
9	〃	遠近 宏昌	右山地区民生委員児童委員	
10	〃	土森 一美	手話サークル「わかあゆ」	
11	〃	松岡 時規子	四万十市認知症家族会「たんぼぼの会」	
12	〃	宮地 淳	蕨岡地区民生委員児童委員	
13	〃	夕部 喜久	渡川地区民生委員児童委員	
14	〃	横山 恵美子	あったかふれあいセンター「ぴーす」	
15	〃	岡本 眞一	みちくさクラブ「四万十」	
16	〃	西澤 和史	四万十市地域づくり支援職員事務局	

##### アドバイザー

	役職	氏名	所属・団体	備考
1	参事	宮本 昌博	四万十市	
2	所長	芝 弘美	四万十市地域包括支援センター	
3	室長	武田 ちづる	幡多福祉保健所地域支援室	
4	チーフ	中山 育志	幡多福祉保健所地域支援室	
5	チーフ	北村 大河	高知県社会福祉協議会 地域・いきがい課	
6	主任	三橋 択実	高知県社会福祉協議会 地域・いきがい課	
7	主事	小谷 美和子	高知県社会福祉協議会 地域・いきがい課	

##### 事務局

	役職	氏名	所属・団体	備考
1	会長	千代岡 博之	四万十市社会福祉協議会	
2	局長	度長 靖	〃	
3	次長	山本 博昭	〃	
4	課長	安田 巧	〃	
5	〃	酒井 和敏	〃	
6	〃	小野 憲一	〃	
7	主任	今城 久枝	〃	

